


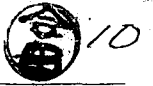


支出調書

会派名	新政会	代表者	経理責任者	起案者	
				折笠 正	
区分	事由	費目・金額		小計	
1 調査研究費		交通費 自動車燃料費 調査委託費	旅費 資料作成費 振込料		
2 研修費		会場費 出席者負担金・会費 旅費 資料作成費 振込料	講師謝金 交通費 自動車燃料費 食糧費		
3 広報費		会場費 自動車燃料費 広報誌(紙) 送料(折込料含む) 茶菓子代	交通費 資料作成費 報告書等印刷費 ウェブページ 掲載代 振込料		
4 広聴費		会場費 自動車燃料費 茶菓子代	交通費 資料作成費 振込料		
5 要請陳情活動費		交通費 自動車燃料費 振込料	旅費 資料作成費		
6 会議費		会場費 自動車燃料費 振込料	交通費 資料作成費		
7 資料作成費		印刷製本費 筆耕料	翻訳料 振込料		
8 資料購入費	新聞(日刊紙)購読料2022.4~2022.9	法規追録代 新聞(日刊紙)購読料 有料データベース等利用料	参考図書代 雑誌等購読料 振込料	68.400	68.400
9 人件費		賃金 振込料	社会保険料等		
10 事務所費		備品購入費 消耗品等事務費 振込料	事務機器等リース代 印刷代 配送手数料		
11 通信運搬・自動車燃料費	自動車燃料費(按分)2022.4~2022.9	電話料等(按分) 自動車燃料費(按分)	郵便料等 その他	42.372	42.372
支出年月日	2022年 9月 30日	現金出納簿 支出番号		合計	110.772

支出明細書兼支出証明書

支出番号



区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年 4月分)				
内 容	読 売 3,400円		日 経 4,000円		
	福島民報 3,300円(請求対象外)				
	日経産業 4,000円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2022年 4月 27日	(有) 馬場新聞店		11,400円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	折笠 正

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No. _____

★ ￥ 14,700 -

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

但 4月分新聞代として

領 4年 4月 27日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山字中町28番地
有限会社 馬場新聞店
 代表取締役 馬場 英治
 TEL・FAX 024-955-2013

コクヨ ウケ-98


※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号

10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年 5月分)				
内 容	読 売 3,400円		日 経 4,000円		
	福島民報 3,300円(請求対象外)				
	日経産業 4,000円				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
2022年 5月27日	(有) 馬場新聞店			11,400円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No. _____

★ ￥14700-

内 訳 _____

現 金 _____

小切手 _____ /

手 形 _____ /

消費税額等(%) _____

但 5月分新聞代として

令和4年 5月 27日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山字中町28番地
 有限会社 **馬場新聞店**
 代表取締役 **馬場英治**
 TEL・FAX 024-955-2013

コクヨ ウケ-98

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. _____

折笠 正 様 郡山市田村町守山中町28番地

和 4年 5月 27日 (有)馬場新聞店
 下記のとおり 申し上げます 馬場 英治


税込 合計金額 ¥ 14,700 - 税率 % 消費税額等


月日	品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)			
	福島民報	1	3300			3300	
	読売	1	3400			3400	
	日経	1	4000			4000	
	日経産業	1	4000			4000	
	(5月分)						
	合 計					14700	

コクヨ ウ-40

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号  10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費	○	
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年 6 月分)				
内 容	読 売 3,400 円		日 経 4,000 円		
	福島民報 3,300 円 (請求対象外)				
	日経産業 4,000 円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2022年 6月27日	(有) 馬場新聞店		11,400 円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No. _____

★

¥ 14,700 -

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

但 6月分新聞代として

2022年 6 月 27 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山字中町28番地
有限会社 馬場新聞店
 代表取締役 馬場 英治
 TEL・FAX 024-955-2013

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. _____

折 筈 正 様 郡山市田村町守山字中町28番地

和 4年 6月 27日 (有)馬場新聞店
 下記のとおり 申し上げます 馬場 英治

税込 合計金額 ￥14,700- 税率 % 消費税額等

月 日	品 名	数 量	単 価	金 額 (税 抜 ・ 税 込)	
	福島民報	1	3300		3300
	読 売	1	3400		3400
	日 経	1	4000		4000
	日経産業	1	4000		4000
	(6月分)				
	合 計				14700


コクヨ U-40

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号

10


区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年 7月分)				
内 容	読 売 3,400円		日 経 4,000円		
	福島民報 3,300円(請求対象外)				
	日経産業 4,000円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2022年 7月27日	(有) 馬場新聞店		11,400円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No.

★

¥ 14,700-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-98

但 7月分新聞代として

2022年 7月27日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山中町28番地
有限会社馬場新聞店
 代表取締役 **馬場 英治**
 TEL・FAX 024-955-2013

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. _____

折 筭 正

様 郡山市田村町守山字中町28番地

平成 4 年 7 月 27 日

(有)馬場新聞店

下記のとおり

申し上げます

馬場 英 治

税込
合計金額 ￥14,700 - 税率 % 消費税額等


月日	品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)			
	福島民報	1	3300			3300	
	読売	1	3400			3400	
	日経	1	4000			4000	
	日経産経	1	4000			4000	
	(7月分)						
	合 計					14700	

コクヨ ウ-40

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年 8 月分)				
内 容	読 売 3,400 円		日 経 4,000 円		
	福島民報 3,300 円 (請求対象外)				
	日経産業 4,000 円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2022年 8月29日	(有) 馬場新聞店		11,400 円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No. _____

★ ￥ 14,700 -

内 訳

現金 _____

小切手 /

手 形 /

消費税額等(%) _____

但 8月分新聞代といふ

領収年 8 月 29 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山字中町28番地
 有限会社 **馬場新聞店**
 代表取締役 **馬場英治**
 TEL・FAX 024-955-2013

コクヨ ウケ-98

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. _____

折笠 正 様 郡山市田村町守山中町28番地

令和4年8月29日 (有)馬場新聞店
 下記のとおり 申し上げます 馬場 英治

税込 合計金額 ￥14,700 - 税率 % 消費税額等


月日	品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)		
	福島民報	1	3300		3300	
	読売	1	3400		3400	
	日経	1	4000		4000	
	日経産業	1	4000		4000	
	(8月分)					
	合 計				14700	

コクヨ ウ-40

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号  10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名	
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		新聞(日刊紙)購読料 ※該当する支出費目を記入	
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費			
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)					
支出目的 (支出事由)	調査研究に係る新聞(日刊紙)購読料 (2022年9月分)					
内 容	読 売 3,400円		日 経 4,000円			
	福島民報 3,300円(請求対象外)					
	日経産業 4,000円					
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額			
2022年9月10日	(有) 馬場新聞店		11,400円			
上記のとおり支出します。						
					議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

折笠 正

様

No. _____

★

¥ 14,700-

内 訳 _____

現 金 _____

小切手 / _____

手 形 / _____

消費税額等(%) _____

コクヨ ウケ-98

但 9月分新聞代として

令和4年9月10日 上記正に領収いたしました

収入印紙

〒963-1155 郡山市田村町守山字中町28番地
有限会社馬場新聞店
 代表取締役 馬場 英治
 TEL・FAX 024-955-2013


※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書 (自動車燃料費用)

支出番号

5

区 分			※該当する区分に○印	2022年4月支出分
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費		
4 広聴費	5 要請・陳情活動費	6 会議費		
⑪ 通信運搬・自動車燃料費 (自動車燃料費)				
支出目的 (支出事由)		<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分 (4分の1) 【区分11】		
※該当する□をチェック				
算定方法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按分 (4分の1)	給油総額 <u>40823</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>10208</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。		
支出金額		10208 <u>10208</u> 円		
上記のとおり支出します。				
		議員氏名 折笠 正 		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

納品書 (領収書)

納品書 (領収書)

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/01(金)08:33 2022/04/01

2022/04/05(火)15:56 2022/04/05

2022/04/07(木)08:32 2022/04/07

全商品プリカ
97-01-00012-0000 07127 様
折笠 正
売上 WA12 ESTA

全商品プリカ
97-01-00012-0000 07127 様
折笠 正
売上 WA12 ESTA

全商品プリカ
97-01-00012-0000 07127 様
折笠 正
売上 WA12 ESTA

4166 000200
レギュラーG ¥4660
28,24L,コ @165 L-3N-7
(内ガソリン税) @53.8 ¥1519

6894 000100
ハイオクG ¥7809
28,24L,コ @178 L-2N-5
(内ガソリン税) @53.8 ¥2360

7546 000200
レギュラーG ¥5399
32,72L,コ @165 L-3N-7
(内ガソリン税) @53.8 ¥1760

合計 ¥4,660
(内消費税等) ¥424
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥4660
プリカ引落後残高

合計 ¥7,809
(内消費税等) ¥710
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥7809
プリカ引落後残高

合計 ¥5,399
(内消費税等) ¥491
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥5399
プリカ引落後残高

期限 23年04月01日 処理通番 33439
※上記にて納品書とさせていただきます

期限 23年04月05日 処理通番 36349
※上記にて納品書とさせていただきます

期限 23年04月07日 処理通番 37017
※上記にて納品書とさせていただきます

No.2666 担当:田村SS 01

No.4708 担当:田村SS 01

No.5213 担当:田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/11(月)09:01 2022/04/11

全商品プリ折筈 正 様
97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA

9984 000200
レギュラーG ¥5843
35.41L,コ @165 L- 3 N- 7
(内がツツ税 @53.8 ¥1905)

合計 ¥5,843
(内消費税等 ¥531)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥5843
プリカ引落後残高

期限 23年04月11日 処理通番 39588
※上記にて納品書とさせていただきます

No.7026 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/15(金)09:51 2022/04/15

全商品プリ折筈 正 様
97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA

1641 000200
レギュラーG ¥2541
15.40L,コ @165 L- 3 N- 7
(内がツツ税 @53.8 ¥829)

合計 ¥2,541
(内消費税等 ¥231)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥2541
プリカ引落後残高

期限 23年04月15日 処理通番 41265
※上記にて納品書とさせていただきます

No.0298 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/18(月)10:18 2022/04/18

全商品プリ折筈 正 様
97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA

3454 000100
ハイオクG ¥4375
24.86L,コ @176 L- 1 N- 2
(内がツツ税 @53.8 ¥1337)

合計 ¥4,375
(内消費税等 ¥398)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥4375
プリカ引落後残高

期限 23年04月18日 処理通番 43237
※上記にて納品書とさせていただきます

No.1668 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/21(木)09:19 2022/04/21

全商品プリ折筈 正 様
97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA

4830 000200
レギュラーG ¥6216
37.67L,コ @165 L- 3 N- 7
(内がツツ税 @53.8 ¥2027)

合計 ¥6,216
(内消費税等 ¥565)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥6216
プリカ引落後残高

期限 23年04月21日 処理通番 44699
※上記にて納品書とさせていただきます

No.2715 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/04/30(土)09:30 2022/04/30

全商品プリ折筈 正 様
97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA

9314 000200
レギュラーG ¥3990
24.33L,コ @164 L- 3 N- 7
(内がツツ税 @53.8 ¥1309)


合計 ¥3,990
(内消費税等 ¥363)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3990
プリカ引落後残高

期限 23年04月30日 処理通番 49572
※上記にて納品書とさせていただきます

No.6113 担当:田村SS 01

支出明細書兼支出証明書（自動車燃料費用）

支出番号 5 10

区 分			※該当する区分に○印	2022年 <u>5</u> 月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費		
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費		
⑪ 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）				
支出目的 （支出事由）	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分（4分の1） 【区分11】			
※該当する□をチェック				
算 定 方 法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按 分 （4分の1）	給油総額 <u>23075</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>5768</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。		
支出金額	5768 円			
上記のとおり支出します。				
			議員氏名	折 笠 正 

納品書（領収書）	納品書（領収書）	納品書（領収書）
株式会社SINコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社SINコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社SINコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611
2022/05/09(月)09:30 2022/05/09	2022/05/14(土)18:12 2022/05/14	2022/05/20(金)09:24 2022/05/20
全商品プリ折笠正様 97-01-00012-0000 07127	全商品プリ折笠正様 97-01-00012-0000 07127	全商品プリ折笠正様 97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA
4779 000200 レギュラーG ¥4199 25.45L,コ @165 L-1N-1 (内ガソリン税 @53.8 ¥1369)	7204 000200 レギュラーG ¥5042 30.93L,コ @163 L-3N-7 (内ガソリン税 @53.8 ¥1664)	9622 000100 ハイオクG ¥6055 35.00L,コ @173 L-4N-11 (内ガソリン税 @53.8 ¥1883)
合計 ¥4,199 (内消費税等 ¥382) プリカ引落前残高 _____ プリカ引落金額 ¥4199 プリカ引落後残高 _____	合計 ¥5,042 (内消費税等 ¥458) プリカ引落前残高 _____ プリカ引落金額 ¥5042 プリカ引落後残高 _____	合計 ¥6,055 (内消費税等 ¥550) プリカ引落前残高 _____ プリカ引落金額 ¥6055 プリカ引落後残高 _____
期限 23年05月09日 処理通番 55225 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年05月14日 処理通番 57813 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年05月20日 処理通番 60373 ※上記にて納品書とさせていただきます
No.2259 担当:田村SS 01	No.4104 担当:田村SS 01	No.5936 担当:田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

納品書 (領収書)

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/05/23(月)14:09 2022/05/23

2022/05/31(火)11:57 2022/05/31

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-0001 0000 07127

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-0001 0000 07127

売上 WA12 ESTA

売上 WA12 ESTA

1245 000200
レギュラーG ¥4145
26.07L,コ @159 L- 4 N-10
(内消費税 @53.8 ¥1403)

5022 000200
レギュラーG ¥3634
22.43L,コ @162 L- 2 N- 4
(内消費税 @53.8 ¥1207)

合計 ¥4,145
(内消費税等 ¥377)
プリカ引落前残高 [REDACTED]
プリカ引落金額 ¥4145
プリカ引落後残高 [REDACTED]

合計 ¥3,634
(内消費税等 ¥330)
プリカ引落前残高 [REDACTED]
プリカ引落金額 ¥3634
プリカ引落後残高 [REDACTED]

期限 23年05月23日 処理通番 62119
※上記にて納品書とさせていただきます

期限 23年05月31日 処理通番 66222
※上記にて納品書とさせていただきます


No. 7180 担当: 田村SS 01

No. 2030 担当: 田村SS 01

支出明細書兼支出証明書 (自動車燃料費用)

支出番号

10
5

区 分		※該当する区分に○印	2022年 6 月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	
⑪ 通信運搬・自動車燃料費 (自動車燃料費)			
支出目的 (支出事由)	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分 (4分の1) 【区分11】		
※該当する口をチェック			
算 定 方 法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円	
	按 分 (4分の1)	給油総額 <u>22905</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>5726</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支出金額	5700 円		
上記のとおり支出します。			
		議員氏名	折笠 正 

納品書 (領収書)	納品書 (領収書)	納品書 (領収書)
株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611
2022/06/06(月)14:33 2022/06/06	2022/06/11(土)15:16 2022/06/11	2022/06/17(金)14:25 2022/06/17
全商品プリ折笠 正 様 97-01-00012-0000 0712/	全商品プリ折笠 正 様 97-01-00012-0000 0712/	全商品プリ折笠 正 様 97-01-00012-0000 0712/
売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA
7897 000200 レギュラーG ¥5621 35.35L, コ @159 L-3 N-7 (内ガソリン税 @53.8 ¥1902)	0094 000200 レギュラーG ¥3190 20.06L, コ @159 L-3 N-7 (内ガソリン税 @53.8 ¥1079)	2704 000210 レギュラーG ¥3707 22.20L, コ @167 L-4 N-10 (内ガソリン税 @53.8 ¥1194)
合計 ¥5,621 (内消費税等 ¥511)	合計 ¥3,190 (内消費税等 ¥290)	合計 ¥3,707 (内消費税等 ¥337)
プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥5621 プリカ引落後残高	プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥3190 プリカ引落後残高	プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥3707 プリカ引落後残高
期限 23年06月06日 処理通番 69324 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年06月11日 処理通番 71670 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年06月17日 処理通番 74531 ※上記にて納品書とさせていただきます
No.4244 担当:田村SS 01	No.5930 担当:田村SS 01	No.7930 担当:田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/06/23(木)17:27 2022/06/23

2022/06/21(火)16:29 2022/06/21

全商品プ **折 笠 正** 様
97-01-00012-0000 07127

全商品プ **折 笠 正** 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

売上 WA12 ESTA

5673 000200
レギュラーG ¥4102
24.56L,コ @167 L- 1 N- 1
(内消費税 @53.8 ¥1321)

4906 000100
ハイオクG ¥6315
35.48L,コ @178 L- 3 N- 8
(内消費税 @53.8 ¥1909)

合計 ¥4,102
(内消費税等 ¥373)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥4102
プリカ引落後残高

合計 ¥6,315
(内消費税等 ¥574)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥6,315
プリカ引落後残高

期限 23年06月23日 処理通番 77551
※上記にて納品書とさせていただきます

期限 23年06月21日 処理通番 76755
※上記にて納品書とさせていただきます


No.2210 担当:田村SS 01

No.1614 担当:田村SS 01

支出明細書兼支出証明書（自動車燃料費用）

支出番号

510

区 分			※該当する区分に○印	2022年 7 月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費		
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費		
⑪ 通信運搬・自動車燃料費（自動車燃料費）				
支出目的 （支出事由）	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分（4分の1） 【区分11】			
※該当する□をチェック				
算 定 方 法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按 分 （4分の1）	給油総額 <u>22812</u> 円 × 按分率 1 / 4 = <u>5703</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。		
支出金額	5703 円			
上記のとおり支出します。				
			議員氏名	折笠 正 

納品書（領収書）

<<再発行>>
 株式会社SINコーポレーション
 田村SS
 福島県郡山市田村町山中字鬼越366
 TEL:024-955-5611
 2022/07/02(土)16:54 2022/07/02

全商品プリ折笠正様
 97-01-00012-0000 07127
 売上 WAI2 ESTA

0552 000200
 レギュラーG ¥3676
 22.01L,コ @167 L- 3 N- 7
 (内ガソリン税 @53.8 ¥1184)

合計 ¥3,676
 (内消費税等 ¥334)
 プリカ引落前残高
 プリカ引落金額 ¥3676
 プリカ引落後残高

期限 23年07月02日 処理通番 82784
 ※上記にて納品書とさせていただきます
 再.5957 担当:田村SS 01

納品書（領収書）

株式会社SINコーポレーション
 田村SS
 福島県郡山市田村町山中字鬼越366
 TEL:024-955-5611
 2022/07/10(日)10:44 2022/07/10

全商品プリ折笠正様
 97-01-00012-0000 07127
 売上 WAI2 ESTA

4259 000200
 レギュラーG ¥3423
 20.62L,コ @166 L- 2 N- 4
 (内ガソリン税 @53.8 ¥1109)

合計 ¥3,423
 (内消費税等 ¥311)
 プリカ引落前残高
 プリカ引落金額 ¥3423
 プリカ引落後残高

期限 23年07月10日 処理通番 86859
 ※上記にて納品書とさせていただきます
 No.0778 担当:田村SS 01

納品書（領収書）

株式会社SINコーポレーション
 田村SS
 福島県郡山市田村町山中字鬼越366
 TEL:024-955-5611
 2022/07/15(金)10:16 2022/07/15

全商品プリ折笠正様
 97-01-00012-0000 07127
 売上 WAI2 ESTA

6372 000200
 レギュラーG ¥3485
 21.92L,コ @159 L- 4 N-10
 (内ガソリン税 @53.8 ¥1179)

合計 ¥3,485
 (内消費税等 ¥317)
 プリカ引落前残高
 プリカ引落金額 ¥3485
 プリカ引落後残高

期限 23年07月15日 処理通番 89193
 ※上記にて納品書とさせていただきます
 No.2423 担当:田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/07/22(金)17:56 2022/07/22

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

0920 000200
レギュラーG ¥6521
40.50L, J @161 L- 3 N- 7
(内消費税 @53.8 ¥2179)

合計 ¥6,521
(内消費税等 ¥593)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥6521
プリカ引落後残高

期限 23年07月22日 処理通番 95146
※上記にて納品書とさせていただきます

No.5844 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/07/29(金)14:41 2022/07/29

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

3980 000200
レギュラーG ¥5707
35.89L, J @159 L- 4 N-10
(内消費税 @53.8 ¥1931)

合計 ¥5,707
(内消費税等 ¥519)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥5707
プリカ引落後残高


期限 23年07月29日 処理通番 98210
※上記にて納品書とさせていただきます

No.0147 担当:田村SS 01

支出明細書兼支出証明書 (自動車燃料費用)

支出番号

5¹⁰

区 分			※該当する区分に○印	2022年 8 月支出分
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費		
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費		
⑪ 通信運搬・自動車燃料費 (自動車燃料費)				
支出目的 (支出事由)	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分 (4分の1) 【区分11】			
※該当する□をチェック				
算 定 方 法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円		
	按 分 (4分の1)	給油総額 <u>35352</u> 円 × 按分率 1/4 = <u>8838</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。		
支出金額	8838 円			
上記のとおり支出します。				
			議員氏名	折笠 正 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/01(月)14:45 2022/08/01

全商品プリ折笠 正 様
97-01-00012-0000 0712/

売上 WA12 ESTA

5825 000200
レギュラーG ¥6397
40.23L,コ @159 L-3N-7
(内ガソリン税 @53.8 ¥2164)

合計 ¥6,397
(内消費税等 ¥582)
プリカ引落前残高 _____
プリカ引落金額 ¥6397
プリカ引落後残高 _____

期限 23年08月01日 処理通番 00163
※上記にて納品書とさせていただきます

No. 1497 担当・田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/06(土)11:08 2022/08/06

全商品プリ折笠 正 様
97-01-00012-0000 0712/

売上 WA12 ESTA

7805 000200
レギュラーG ¥3647
22.94L,コ @159 L-3N-7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1234)

合計 ¥3,647
(内消費税等 ¥332)
プリカ引落前残高 _____
プリカ引落金額 ¥3647
プリカ引落後残高 _____

期限 23年08月06日 処理通番 02083
※上記にて納品書とさせていただきます

No. 3020 担当・田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社SINコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/09(火)17:19 2022/08/09

全商品プリ折笠 正 様
97-01-00012-0000 0712/

売上 WA12 ESTA

9621 000100
ハイオクG ¥7534
43.30L,コ @174 L-4N-11
(内ガソリン税 @53.8 ¥2330)

合計 ¥7,534
(内消費税等 ¥685)
プリカ引落前残高 _____
プリカ引落金額 ¥7534
プリカ引落後残高 _____

期限 23年08月09日 処理通番 03983
※上記にて納品書とさせていただきます

No. 4204 担当・田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/10(水)10:09 2022/08/10

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

9864 000200
レギュラーG ¥3325
20.78L,コ @160 L- 3 N- 7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1118)

合計 ¥3,325
(内消費税等 ¥302)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3325
プリカ引落後残高

期限 23年08月10日 処理通番 04220
※上記にて納品書とさせていただきます

No.4569 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/12(金)13:38 2022/08/12

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

1118 000200
レギュラーG ¥3733
23.33L,コ @160 L- 3 N- 7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1255)

合計 ¥3,733
(内消費税等 ¥339)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3733
プリカ引落後残高

期限 23年08月12日 処理通番 05507
※上記にて納品書とさせていただきます

No.4569 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/17(水)09:26 2022/08/17

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

3540 000200
レギュラーG ¥3446
21.54L,コ @160 L- 3 N- 7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1159)

合計 ¥3,446
(内消費税等 ¥313)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3446
プリカ引落後残高

期限 23年08月17日 処理通番 07918
※上記にて納品書とさせていただきます

No.7350 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

<<再発行>>

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/26(金)11:31 2022/08/26

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

7561 000200
レギュラーG ¥3961
24.91L,コ @159 L- 2 N- 4
(内ガソリン税 @53.8 ¥1340)

合計 ¥3,961
(内消費税等 ¥360)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3961
プリカ引落後残高

期限 23年08月26日 処理通番 12156
※上記にて納品書とさせていただきます

再.2424 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/08/21(日)10:29 2022/08/21

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

5413 000200
レギュラーG ¥3309
20.81L,コ @159 L- 1 N- 1
(内ガソリン税 @53.8 ¥1120)

合計 ¥3,309
(内消費税等 ¥301)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥3309
プリカ引落後残高


期限 23年08月21日 処理通番 09959
※上記にて納品書とさせていただきます

No.0784 担当:田村SS 01

支出明細書兼支出証明書 (自動車燃料費用)

支出番号

10
5

区 分			※該当する区分に○印
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	2022年 9 月支出分
4 広 聴 費	5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	
⑪ 通信運搬・自動車燃料費 (自動車燃料費)			
支出目的 (支出事由)	<input type="checkbox"/> 特定用途 【区分1、2、3、4、5、6】 <input checked="" type="checkbox"/> 按分 (4分の1) 【区分11】		
※該当する口をチェック			
算 定 方 法	特定用途	特定の活動等に自動車燃料費を充当する場合は、特定業務の開始前及び終了後に満タンに給油し、特定業務終了後の給油額の全額を支出する。 給油額 _____ 円	
	按 分 (4分の1)	給油総額 <u>2532</u> / 円 × 按分率 1 / 4 = <u>633</u> 円 ※按分後の金額の1円未満の端数は切り捨てる。 ※月額上限1万円。	
支出金額	6330 円		
上記のとおり支出します。			
		議員氏名	折笠 正 

納品書 (領収書)	納品書 (領収書)	納品書 (領収書)
株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611	株式会社S I Nコーポレーション 田村SS 福島県郡山市田村町山中字鬼越366 TEL:024-955-5611
2022/09/01(木)08:15 2022/09/01	2022/09/05(月)13:39 2022/09/05	2022/09/09(金)11:40 2022/09/09
全商品プリ折笠 正 様 97-01-0001Z-0000 07127	全商品プリ折笠 正 様 97-01-0001Z-0000 07127	全商品プリ折笠 正 様 97-01-00012-0000 07127
売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA	売上 WA12 ESTA
0422 000200 レギュラーG ¥4001 24.85L,コ @161 L-3N-7 (内ガソリン税 @53.8 ¥1337)	2635 000200 レギュラーG ¥3102 19.39L,コ @160 L-2N-4 (内ガソリン税 @53.8 ¥1043)	4004 000200 レギュラーG ¥3078 19.36L,コ @159 L-2N-4 (内ガソリン税 @53.8 ¥1042)
合計 ¥4,001 (内消費税等 ¥364) プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥4001 プリカ引落後残高	合計 ¥3,102 (内消費税等 ¥282) プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥3102 プリカ引落後残高	合計 ¥3,078 (内消費税等 ¥280) プリカ引落前残高 プリカ引落金額 ¥3078 プリカ引落後残高
期限 23年09月01日 処理通番 15266 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年09月05日 処理通番 17745 ※上記にて納品書とさせていただきます	期限 23年09月09日 処理通番 19115 ※上記にて納品書とさせていただきます
No.4585 担当:田村SS 01	No.6243 担当:田村SS 01	No.7321 担当:田村SS 01

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

納品書 (領収書)

<<再発行>>
株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/09/17(土)15:33 2022/09/17

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

8541 000200
レギュラーG ¥5492
34.54L,コ @159 L- 3 N- 7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1858)

合計 ¥5,492
(内消費税等 ¥499)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥5492
プリカ引落後残高

期限 23年09月17日 処理通番 23873
※上記にて納品書とさせていただきます

再.2726 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/09/22(木)15:03 2022/09/22

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

0869 000100
ハイオクG ¥5411
31.83L,コ @170 L- 1 N- 2
(内ガソリン税 @53.8 ¥1712)

合計 ¥5,411
(内消費税等 ¥492)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥5411
プリカ引落後残高

期限 23年09月22日 処理通番 26400
※上記にて納品書とさせていただきます

No.4507 担当:田村SS 01

納品書 (領収書)

株式会社S I Nコーポレーション
田村SS
福島県郡山市田村町山中字鬼越366
TEL:024-955-5611

2022/09/24(土)15:15 2022/09/24

全商品プリ折 笠 正 様
97-01-00012-0000 07127

売上 WA12 ESTA

1805 000200
レギュラーG ¥4237
26.65L,コ @159 L- 3 N- 7
(内ガソリン税 @53.8 ¥1434)




合計 ¥4,237
(内消費税等 ¥385)
プリカ引落前残高
プリカ引落金額 ¥4237
プリカ引落後残高

期限 23年09月24日 処理通番 27392
※上記にて納品書とさせていただきます

No.5233 担当:田村SS 01

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

支 出 調 書

会派名	新政会	代表者	経理責任者	起案者	
				會田 一男	
区 分	事 由	費 目 ・ 金 額			小 計
1	調 査 研 究 費	交通費 自動車燃料費 調査委託費	旅費 資料作成費 振込料		
2	研 修 費 (11/7~8) 地方議員研究会主催研修会、受講料、振込料)	会場費 出席者負担金・会費 旅費 資料作成費 振込料	講師謝金 交通費 自動車燃料費 食糧費	480,000 880	480,880
3	広 報 費	会場費 自動車燃料費 広報誌(紙) 送料(折込料含む) 茶菓子代	交通費 資料作成費 報告書等印刷費 ウェブページ 掲載代 振込料		
4	広 聴 費	会場費 自動車燃料費 茶菓子代	交通費 資料作成費 振込料		
5	要 請 陳 情 活 動 費	交通費 自動車燃料費 振込料	旅費 資料作成費		
6	会 議 費	会場費 自動車燃料費 振込料	交通費 資料作成費		
7	資 料 作 成 費	印刷製本費 筆耕料	翻訳料 振込料		
8	資 料 購 入 費	法規追録代 新聞(日刊紙) 購読料 有料データベース 等利用料	参考図書代 雑誌等購読料 振込料		
9	人 件 費	賃金 振込料	社会保険料等		
10	事 務 所 費	備品購入費 消耗品等事務費 振込料	事務機器等 リース代 印刷代 配送手数料		
11	通 信 運 搬 ・ 自 動 車 燃 料 費	電話料等(按分) 自動車燃料費 (按分)	郵便料等 その他		
支出年月日	2022年 10月 3日	現金出納簿 支出番号	//	合 計	480,880

支出明細書兼支出証明書

支出番号 //

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	地方議員研究会主催 研修会 受講料				
内 容	11月7日				
	○基礎からわかる公共施設マネジメント				
	○公会計改革と公共施設との緊密な関係				
	11月8日				
○公共施設を見れば財政問題がわかる					
○公共施設も活用すれば稼ぐ施設に					
受講料 15000円×4講座×8名=480,000円					
振込料 880円					
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2022年 10月 3日	地方議員研究会 CK セミナー事務局		480,000円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

2022 年 11 月 7 日

郡山市議会 新政会 様

★ ￥480,000

但 11/7.8 公共施設特別研修

8名様 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

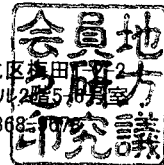
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田2丁目5番10号

大阪駅前第2ビル2階510号室

TEL 050-6868-1979



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

に6.911
2022年1月3日

金融機関名(漢字)をふりがまめで記入ください(東邦銀行の場合のみ不要) 支店名(漢字)もふりがまめで記入ください

お振込先
銀行 東邦銀行 支店 四宮 支店

東邦銀行への振込 東邦銀行
銀行以外の場合は○をお印ください
信金 振替 出金 の他

ご記入にあたってのお願い
● 本枠の中を黒ボールペンで強めに記入ください。
● 金額の先頭に「¥」を記入してください。
● 濁点(・)は、半角濁点(・)のみを使用してください。

預金種目
1.当座 2.普通 3.貯蓄 4.定期 5.その他
口座番号 7128969
金額 7480000

カタカナ
イッハクンシヤタニシロウシニシ
ワセミナ

おなまえ(漢字)
一般社団法人CKセミナー

カタカナ
コソリヤマシキカイシニセイカイ

おなまえ(漢字)
郡山市議会新政会

おところ
郡山市朝日1-23-7

印中で連絡可能なお電話番号

株式会社 東邦銀行

収入印紙

出3納

4.10.3

東邦銀行
郡山市役所支店

当行をご利用いただきましてありがとうございます

- 振込依頼書(明細書等)に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。
- 振込内容につき、訂正・取消が生じた場合は、訂正組戻依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。このような場合も、振込手数料はご返却いたしませんので、ご了承ください。

令和4年9月28日(水)

福島県郡山市議会 新政会 御中

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 11月7日(月)10時～南講師【京都】基礎からわかる公共施設マネジメント	¥120,000	8名様
② 11月7日(月)14時～南講師【京都】公会計改革と公共施設との緊密な関係	¥120,000	8名様
③ 11月8日(火)10時～南講師【京都】公共施設をみれば財政問題がわかる	¥120,000	8名様
④ 11月8日(火)14時～南講師【京都】公共施設も活用すれば稼ぐ施設に	¥120,000	8名様

受講者： 廣田耕一様、福田文子様、會田一男様、折笠正様、
良田金次郎様、栗原晃様、石川義和様、遠藤敏郎様

領収書宛名： 郡山市議会 新政会 様
ご請求額： **¥480,000**
【お振込み口座】
楽天銀行 第四営業支店
普通 7128969
名義 一般社団法人CKセミナー

※新型コロナウイルス感染予防における対策を徹底の上、少人数にて開催させていただきます。
※何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

地方議員研究会

公共施設 特別研修



講師 南学 みなみ まなぶ

東京大学経済学研究科公民連携専攻客員教授、三重県政策アドバイザー(行財政改革専門委員会委員)、さいたま市公共施設再配置検討委員会委員、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員、習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会委員長、高浜市公共施設マネジメント委員会委員長、横須賀市公共施設再配置検討委員会委員長、所沢市総合計画審議会会長、八千代市公共施設検討委員会委員、ふしみの野市行政改革推進委員会委員長

東京大学卒業後、横浜市役所に入職。環境事業局、経済局、総務局、市立大学事務局、市長室、企画局を歴任。2000年から静岡文化芸術大学助教授、2002年から横浜市参与、2004年から神田外語大学教授。2005年から横浜市立大学理事兼務、2011年から神奈川大学人間科学部特任教授を経て、現職。自治体行政サービスのABC分析で先駆的な研究を公表。著書に「ポストコロナ社会の公共施設マネジメント」「行政経営革命「自治体ABC」によるコスト把握」等。論文に「公共施設マネジメント」(地方財務、連載中)等。

in 東京

in 京都

10.19(水) 11.7(月)

10:00~12:30

基礎からわかる 公共施設マネジメント

- ・放置されてきた「危険な」公共施設
- ・事故が起こると、公務員が有罪になる?
- ・デジタル化で大きく変わる公共施設
- ・実は、使われていない公共施設
- ・ポストコロナ社会では公共施設が必要なくなる?

14:00~16:30

公会計改革と公共施設との 緊密な関係

- ・誰もわからなかった自治体の資産
- ・「人件費」の項目がない自治体の予算
- ・なぜ、予算額と決算額が一致するのか
- ・ポストコロナ社会で、財政はどうなるのか
- ・財源がなくとも資産の有効活用で乗り切る

in 東京

in 京都

10.20(木) 11.8(火)

10:00~12:30

公共施設をみれば、 財政問題がわかる

- ・誰もわからなかった公共施設の費用
- ・公共施設マネジメントで財政課題が見える
- ・自治体は借金をして大丈夫なのか
- ・コロナ禍で消滅する自治体も
- ・財政課も分からない自治体の将来財政

14:00~16:30

公共施設も活用すれば 稼ぐ施設に

- ・公民連携(PPP)で民間資金とノウハウを導入する
- ・カネがなくとも資産がある
- ・コロナ禍とデジタル化で公共施設が変わる
- ・指定管理者制度は議会にも責任がある

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 東京	
10月19日 (水曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 基礎からわかる 公共施設マネジメント
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 公会計改革と公共施設との 緊密な関係
10月20日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 公共施設をみれば、 財政問題がわかる
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 公共施設も活用すれば 稼ぐ施設に

in 京都	
11月7日 (月曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 基礎からわかる 公共施設マネジメント
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 公会計改革と公共施設との 緊密な関係
11月8日 (火曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 公共施設をみれば、 財政問題がわかる
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 公共施設も活用すれば 稼ぐ施設に

お名前	(フリガナ)	貴職会名	(期目)
電話番号	() - () - ()	FAX番号	() - () - ()
E-mail@.....		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他()		
会場の参加を希望せず、 郵送サービスでのお申込みの方は チェックしてください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はいししないことに同意して申込みます</small> ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。	
郵送先の住所	※郵送希望の方は ご記入ください	郵便 番号	(-)

開催場所
in 東京

リファレンス新有楽町ビル

4講座 | 〒100-0006 東京都千代田区有楽町
同場所 | 1丁目12-1 新有楽町ビル2階

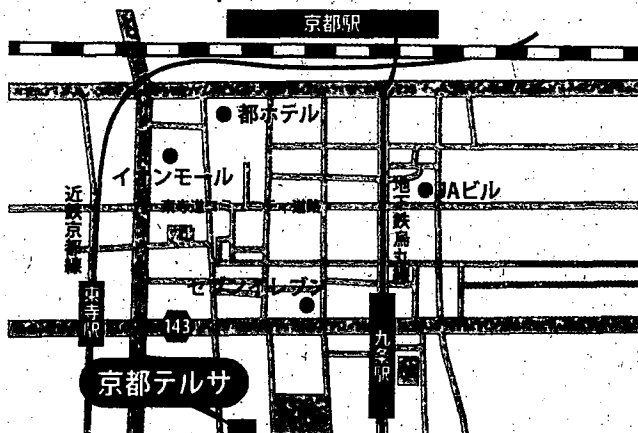


- ▶ JR有楽町線 有楽町駅 中央西口/日比谷口より 徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線 有楽町駅 D2より連絡
- ▶ 東京駅から 徒歩10分 ▶ 東京駅からタクシーで約500円

開催場所
in 京都

京都テルサ

4講座 | 〒601-8047 京都府京都市
同場所 | 南区東九条下殿田町70



- ▶ JR京都駅(八条口西口)より南へ 徒歩約15分
- ▶ 近鉄東寺駅より東へ 徒歩約5分
- ▶ 地下鉄九条駅4番出口より西へ 徒歩約5分

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。


お問合せ
事務局

地方議員研究会

TEL 050-6868-9678
FAX 050-6868-9679
メール mail@chihogiken.or.jp

支出明細書兼支出証明書

支出番号 //

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費		振込料 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支 出 目 的 (支出事由)	地方議員研究会主催 研修会 受講料 振込料				
内 容	11月7日				
	○基礎からわかる公共施設マネジメント				
	○公会計改革と公共施設との緊密な関係				
	11月8日				
○公共施設を見れば財政問題がわかる					
○公共施設も活用すれば稼ぐ施設に					
受講料 15000円×4講座×8名=480,000円					
振込料 880円					
支 出 年 月 日	支 出 先			支 出 金 額	
2022年 10月 3日	株式会社東邦銀行			880円	
上記のとおり支出します。					議員氏名 共通 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または√)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

ご振込日
2022年 10月 3日

お振込先

金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)

支店名(漢字)を左づめでご記入ください

東邦銀行あての振込
 東邦銀行

銀行以外の場合は○をお付けください

振込金 に 期 限 振 替 金 の 他

銀行 第四宮業

支店

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)も一マスを使用してお記入ください。

お預金種目

該当項目に○をお付けください
1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他

左づめでご記入ください

金額

7128969

7480000

受取カタカナ

イツハシンシャ タンホウシニシ
ケセミナ

消費税込手数料
0820

人

おなまえ(漢字)

一般社団法人CKセミナー

様

衣カタカナ

コソリヤマシキ カインセイカイ

おなまえ(漢字)

郡山市議会新政会

様

頁

おところ

日中ご連絡可能な電話番号

郡山市朝日1-23-7

[Redacted]

株式会社 東邦銀行




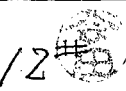
出3納
4.10.3
東邦銀行
郡山市支所支店

収入印紙
1.振込金受取書の場合、
振込金1万円未満は
10円、1万円以上は
20円、5万円以上は
50円、10万円以上は
100円、100万円以上は
500円、1000万円以上は
1000円を貼る。

当行をご利用いただきましてありがとうございます


- 振込依頼書(明細書等)に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。
- 振込内容につき、訂正・取消が生じた場合は、訂正組戻依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。このような場合も、振込手数料はご返却いたしませんので、ご了承ください。

支出調書

会派名	新政会	代表者	経理責任者	起案者	
				會田一男 	
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費 自動車燃料費 調査委託費		旅費 資料作成費 振込料	
2 研修費		会場費 出席者負担金・会費 旅費 資料作成費 振込料		講師謝金 交通費 自動車燃料費 食糧費	
3 広報費	27 会報制作・新聞折込料(2022年10月23日発行)	会場費 自動車燃料費 広報誌(紙) 送料(折込料含む) 茶菓子代	568,700 391,050	交通費 資料作成費 報告書等印刷費 ウェブページ掲載代 振込料	959,750
4 広聴費		会場費 自動車燃料費 茶菓子代		交通費 資料作成費 振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費 自動車燃料費 振込料		旅費 資料作成費	
6 会議費		会場費 自動車燃料費 振込料		交通費 資料作成費	
7 資料作成費		印刷製本費 筆耕料		翻訳料 振込料	
8 資料購入費		法規追録代 新聞(口刊紙)購読料 有料データベース等利用料		参考図書代 雑誌等購読料 振込料	
9 人件費		賃金 振込料		社会保険料等	
10 事務所費		備品購入費 消耗品等事務費 振込料		事務機器等リース代 印刷代 配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分) 自動車燃料費(按分)		郵便料等 その他	
支出年月日	2022年 10月 24日	現金出納簿 支出番号		合計	959,750

支出明細書兼支出証明書

支出番号 12

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		広報誌(紙) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌(27号)				
内 容	レイアウト、データ制作及び印刷料 79,500枚 印刷代 517,000円 + 消費税 51,700円 = 568,700円				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
2022年10月24日	株式会社 デザインライフ			568,700円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄


№ 000118
令和 4 年 10 月 24 日


領 収 証

新政会様


金額 ¥568,700- 円也

会報27号以外、千円単位での印刷料(内消費税51,700円)


 版促&広告全般の企画制作・実施管理
 (株)デザインライフ
 代表取締役 武田 学
 〒963-8023 郡山市緑町10-17
 TEL 024(923)5555・FAX(923)5573


 00118

現金
 小切手
 銀行振込
 受取手形
 相殺

係印 

上記の金額領収いたしました。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

963-8024
郡山市朝日一丁目23-7
郡山市市議会事務局総務課内
新 政 会 御中

令和 4年 10月 23日 No: 9715

株式会社 デザインライブ
963-8023 郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当: [Redacted]

下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
	会報27号制作、折込							
⁸	レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分500枚含む)	79,500	枚	0.00	517,000			
⁸	10月23日新聞折込料 (郡山市内全域、全紙折込)	79,000	枚	4.50	355,500			
摘要:		合計	税抜	872,500	税額	87,250	総額	959,750

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

広報誌の按分（印刷料分）

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$380 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 414,960 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

①	mm^2	\times		mm^2	$=$		mm^2
②	mm^2	\times		mm^2	$=$		mm^2
③	mm^2	\times		mm^2	$=$		mm^2
④	mm^2	\times		mm^2	$=$		mm^2
⑤	mm^2	\times		mm^2	$=$		mm^2
	小		計			0	$\text{mm}^2 \dots ii$

3 按分割合

$$ii \div i = \times 100 = \text{対象外按分率 } 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 568,700 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0 \% = 0 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 568,700 \text{ 円} - iii = \underline{\text{対象経費 } 568,700 \text{ 円}}$$

発行日 令和4年10月23日発行 発行責任者 廣田 耕一 住所 郡山市朝日1丁目23-7 電話 024-924-2607 FAX 024-924-0141



郡山市議会

新 政 会

だより

27

9月定例会報告

令和4年郡山市議会



鷲峰山を望む甲野のそば畑
中野生産組合が26年前から愛情を込めて生産しています。

↑
381
m
↓

9月定例会の概要

郡山市議会9月定例会は、新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るう中、9月6日に開会し10月4日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「国の政策動向を注視し、時機を逸することなく、市民生活、地域経済に即連動できるよう、引き続き迅速な情報収集と的確な対応に努める。」旨の表明がありました。

補正予算の概要は、一般会計77億6,529万6千円、特別会計9億6,220万2千円を計上したほか、追加提案された物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業16億5千万円が追加計上されました。補正予算は、当初予算編成方針の新型コロナウイルス感

染症対策などの危機管理予算の視点、バックキャスト思考を継承しつつ、6月に閣議決定された「骨太の方針2022」、更には、今後のコロナ禍における原油価格・物価高騰対策などの喫緊の課題等を考慮し、市民生活の安定、社会経済活動の回復に資するための予算となり原案の通り可決しました。

これら予算議案のほか、条例議案等が上程され、原案通り可決するとともに、委員会提出の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書を全会一致で可決しました。また、人事案件に同意しました。

新 政 会 議員紹介 (連絡先)

この見をおおりにお寄せください

<p>顧問(6期) 遠藤 敏郎</p> <p>総務財政常任委員会 喜久田町前田沢字 中赤津105 ☎・FAX 024-959-4651</p>	<p>会長(3期) 廣田 耕一</p> <p>文教福祉常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 日和田町字南原2-111 ☎・FAX 024-958-1101</p>	<p>副会長(3期) 石川 大和</p> <p>総務財政常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 台新2-4-11 ☎・FAX 024-953-6082</p>	<p>(3期) 栗原 晃</p> <p>郡山市監査委員 建設水道常任委員会 亀田1-24-11 ☎024-938-4151</p>
<p>常任委員(2期) 折 孝 正</p> <p>議会運営委員会 環境経済常任委員会 田村町下道渡字坂ノ下65 ☎・FAX 024-955-3913</p>	<p>(2期) 奥田 幸次郎</p> <p>議会運営委員会 環境経済常任委員会 湖南町赤津字南町4172 ☎・FAX 024-953-2088</p>	<p>(2期) 吉田 勇</p> <p>議会運営委員会 建設水道常任委員会 西田町木村字池ノ上18 ☎・FAX 024-983-9957</p>	<p>(1期) 富田 文子</p> <p>文教福祉常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 広瀬広報委員会 堂前町8-5</p>

← 273 mm →

9月定例会の目

質問者：福田 文子 議員

◀実際の映像もご覧になれます▶

教育機関における性教育について

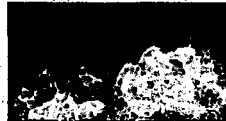
Q 生命の安全教育指導の手引によると、幼児期における「命の安全教育」は5・6歳が最初の指導対象年齢としているが、本市はどのように取り組まれているのか。

A 2020年6月文部科学省発出の「性犯罪・性暴力対策の方針」を踏まえ、子どもを性暴力の当事者にさせないため、発達段階に応じた教育と啓発を行うものであり、5・6歳の幼児期については、異性の体の違いに気が付き興味を持ち始める幼児もあり、自分の身を守ることの重要性や嫌なことをされたら訴えることの必要性を教えていくこととしている。市内の保育施設では、従前より5歳児を対象に人体パズルや絵本等を使用して、男女の体の違いや体の大切な部分について教えるなど、幼児期からの性教育をすでに行なっているところもある。

ごみの問題について

Q 本市のごみの排出量は中核市62市中ワースト1位である。その対策として、ごみの分別を徹底し資源ごみとして回収することは、ごみを減らすうえで有効な手段である。市は、あらゆる手段を講じて、分別の徹底を図るべきと思うが見解は。

A 家庭ごみの排出にあたっては「郡山市一般廃棄物処理基本計画」及び「郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例」に定められている排出基準に従い分別し、ごみを排出するようお願いしている。分別の区分については、「広報こおりやま」や「ごみの日カレンダー」の配布による全戸周知のほか、「福島県環境アプリ」、「郡山市公式LINE」などSNS等を通じて、ごみ収集日や分別の徹底を図っている。今後もあらゆるツールを活用するとともに、市のイベントや市政きらめき出前講座などを通じて更なる周知と分別の徹底やリサイクルの推進に努める。



【その他の質問】 ●部活動の地域移行について ●自転車の安全について

質問者：良田 金次郎 議員

子ども食

Q 子ども食堂はその運営団体により活週1回に増やすなど、できるだけ多くの貢献すべきと思うが見解を伺う。

A 各運営団体の形態は、地域住民のボ人など様々であるが、いずれも本邦のを運営されており、開催回数を増やすに人手や時間、場所の確保といった多くのやすとともに、市内全域で開催できるよる。今後においても、運営の原資となる寄役割の周知・啓発を通し、子ども居場所づ

布引風の高原

Q 布引風の高原は市内外から多くの夏場は車の渋滞が発生している。今冬滞の解消をはじめ、布引風の高原の魅力向

A 対策として、これまで既存駐車場の台に増やすとともに交通誘導にあ行ってきた。さらに、ウェブサイトを活用し周知し来訪者の平準化にも努めてきた。いことから地元財産区や商工会、観光協会な協議を行いながら、布引風の高原の魅力向

【その他の質問】 ●ヤングゲアラーについて ●湖南七浜の活用について

9月定例会で可決された主な事業

③ 拡充事業
④ 今回取り入れた新しい事業

③ オミクロン株対応 ワクチンの10月以降の接種準備を開始

予算 7億620万円
財源区分補助 国10/10

新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として、対象者にオミクロン株対応ワクチンの接種を実施します。

対象者
2回目までの接種を完了した
12歳以上の全て方 267,000人

接種開始
令和4年9月26日から始まっています

新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム

④ 生活困窮世帯の光熱費等を支援

予算 16億5,000万円 財源区分国補助

国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の支給要件に基づき、**対象世帯及び給付金額を追加拡大します。**
原油価格や物価高騰等に伴う生活困窮世帯の負担軽減を図るため、住民税非課税世帯等に対し**1世帯当たり5万円**を支給します。

対象世帯、支給額等

- (1)対象世帯
令和4年度分の住民税非課税世帯のうち
高齢・障がい・ひとり親生活保護、支給給付等
約25,000世帯
- (2)支給額 1世帯当たり
15,000円
- (3)支給時期
12月支給開始予定
- (4)事業費
3億9,100万円

- (1)対象世帯
令和4年度分の住民税非課税世帯、家計急変世帯
約36,000世帯
(11,000世帯増)
- (2)支給額 1世帯当たり
50,000円
- (3)支給時期
今秋の支給予定
- (4)事業費
20億4,100万円
(16億5,000万円増)

保健福祉総務課

な「一般質問」

実際の映像もご覧になれます

質問者：石川 義和 議員



←実際の映像もご覧になれます

について

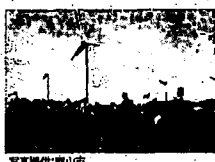
日数は様々だが、例えば、月2回の活動を数を活動し、子どもたちの居場所づくりに

ンディア、個人事業主、企業や非営利法
間や事業の中の一つとして子ども食堂
たつては、運営資金の確保はもとより、
題を抱えている現状であるが、利用を増
支援していくことが重要であると考え
のさらなる確保と、子ども食堂の社会的
りに取り組む。

停滞について

光客が訪れる観光地になっているが、特に
駐車場の拡張や周回道路の拡幅など、渋
をどのように実現する考えなのか伺う。

画割を見直し、駐車台数を92台から170
備員)増員等を
過去の混雑状況を
いるな課題もある
と多角的な視点で
策を検討する。



写真提供：郡山市

財産区について ●郡山南インター線周辺の開発について

恒久平和を願い戦争を語り継ぐために

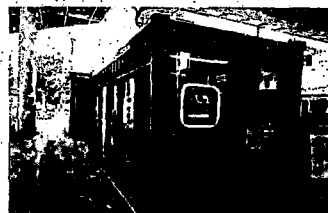
Q 世界平和が脅かされている情勢下、先の悲しみを二度と起こさない戦争のない日
本を築いていくためには、戦争の記憶を引き継ぎその事実を語り継ぐことが重要であ
る。しかし、現実には戦争を体験した世代が年々少なくなり、語り継ぐことが困難になっ
ている。そのためにも、戦争の遺構、遺跡、遺品等により戦争の惨禍を後世に伝えるとともに、文
化財として保存に取り組みはどうか。

A 本市には軍事施設が設置されていたが、現在、ほとんどが確認できず資料も残っ
ておらず現状確認が困難な状況である。戦争遺構、遺跡等については、文化財として
の価値判断するための基準が確立されていないため、今後、国・県・他自治体の動向を注
視し、情報収集を行っていく。

先進地に学ぶたばこ行政について

Q 東京都港区は、港区で暮らす人・働く人・学ぶ人・港区を訪ねる人が、快適なまちを現
現するため、たばこを吸う人、吸わない人が、お互い配慮しあえる快適に過ごせるまちづ
くりを目指し、屋内外に指定喫煙所の設置に取り組んでいる。指定喫煙所は、屋外に41カ所、
屋内に55カ所が設置されている。本年度は、屋外密閉型喫煙所整備の経費約9千万円、屋
内喫煙所設置等補助約9千万円見込んでいる。本市も
港区のように、国から要請されているたばこ税を活用し
て、市の公共施設に喫煙所の整備を図るべきである。

A 市公共施設等に喫煙所の整備は、喫煙所からニコ
チン等の有害物質を含んだ空気が流出するため、健
康被害を完全に防ぐことは難しいことから適切でない。



港区に設置されている屋外密閉型喫煙所。

【その他の質問】
●本市の街路樹について

中小企業等応援プロジェクト2022

予算 2億395万円
※9月補正額

コロナ禍、物価高騰等に対する事業者支援のため、「事業の革新・継続」
X「GX推進」「需要創出」を柱とした【課題克服・需要創出パッケージ】を
話し地域経済の好循環を図ります。

中小企業の
抱える課題

業況が厳しく 急速なデジタル カーボンニュート
事業継続が困難 化に未対応 ラルの実現



迫る法改正 地域経済の好循環に
(電子帳簿保存法等) に向けた需要創出

物価高騰を克服する 事業者の経営体質強化事業【新規】	1,500万円
運輸業等緊急支援事業【新規】(県補助上乘)	8,535万円
原油・物価高騰に対応した高効率化等 促進事業【新規】(県補助上乘)	4,000万円
観光案内所リニューアル・DX観光PR事業【新規】	6,250万円
商店街等にぎわい回復・DX推進事業 【新規】(県補助上乘)	110万円

産業政策課・観光課・産業創出課

令和3年度 決算概要

(一般会計・公営企業4会計を含む32特別会計)

令和3年度決算特別委員会は、令和4年9月29日か
ら10月4日までの実質4日間にわたり決算認定等議
案33件について審査し、全会一致で承認されました。
決算の概要は次の通りです。

一般会計の決算額は歳入が1,623億534万円、歳出
は1,537億7,895万円で、翌年度への繰越充当財源を
差し引いた実質収支は69億7,046万円の黒字決算と
なっており公営企業を除く28の特別会計についても
黒字決算となっております。一方、財政健全化判断比
率は、一般会計等の赤字額の割合を示す実質赤字比率
及び連結実質赤字比率に赤字額はなく、市の財政規模
に占める借入金返済額等の大きさを示す実質公債比
率、借入金等に加え、将来にわたる市財政への負担の
大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態に
あります。また、資金不足はなく良好な状態です。

常任委員会報告

総務 財政

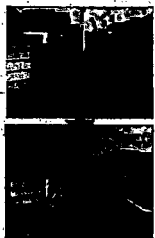
遠藤 敏郎、石川 義和
 総務財政常任委員会に付託されました議案の主なものは、「庁舎内電話通信網にスマートフォン導入」(4億1,951万円)は庁舎電話交換機のクラウド化とともに新たにスマートフォンを導入することにより市民サービスの向上、災害に強い通信環境を整備します。次に、「(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業」に伴う「麓山地区立体駐車場の整備」(1,500万円)は、管理運営等の経費のほか駐車料金のキャッシュレス決済導入に要する費用等の経費です。また、「郡山市体育施設条例の一部を改正する条例」は、郡山総合運動場等の駐車場を有料化することに伴い、所要の改正を行うものです。これら当委員会付託分の議案については原案のとおり可決しました。

なお、当委員会がPDCAサイクル事業に選定した「旧豊田貯水池活用事業」並びに「(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業」は、その進捗状況の報告があり、令和3年度分は事業計画に基づき概ね適正に行われたと評価しました。

建設 水道

栗原 晃、倉田 一男
 建設水道常任委員会の9月補正予算
 生活環境の利便性や安全性の向上を図るため、損傷のある道路舗装の補修や水路側溝の改修を行います。

- 道路維持管理事業 予算3億600万円
- 内容 道路維持補修工事・舗装補修業務・道路補償業務等
 - 施工箇所 市内一円
- 水路側溝整備事業 予算7,000万円
- 内容 整備工事・測量設計
 - 実施箇所 市内21ヵ所



水路側溝整備工事イメージ

環境 経済

折笠 正、良田 金次郎
 コロナ・国際情勢等を踏まえた原油価格・物価高騰等緊急対策として農業者の肥料高騰の影響について軽減を図るため、高騰した肥料費の一部助成や、中小企業等応援プロジェクト2022としてコロナ禍、物価高騰等に対する事業者支援のため「事業の変革・継続」「DX・GX推進」「需要創出」を柱とした課題克服・需要創出パッケージを実施し地域経済の好循環を図るための各事業について審議されました。

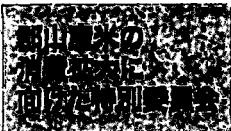
また、地域公共交通事業者・運送事業者等への支援や製造業における省資源化・高効率化への支援に関する事業や、コロナ禍で低迷した観光産業の回復を図るための観光案内所リニューアル・DX観光PR事業では、DXを活用した新たな情報発信の拠点として観光案内所の整備等について審議され、可決しました。

文教 福祉

廣田 耕一、福田 文子
 ベビーファースト運動関連事業(1億7,905万円)に基づく、生後6ヵ月～5歳未満児のインフルエンザ予防接種費用を助成(7,104万円)、民間児童施設等の光熱費等を補助(9,520万円)、公立保育所の空調設備を更新(1,197万円)等。

さらに生活困窮世帯の光熱費等を支援するための物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業(16億5,000万円)。また小中学校における給食費補助を拡充・感染症対策を継続(2億8,062万円)等の本委員会付託案件を可決承認しました。

また、「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書を国に提出するための請願について採択したほか、PDCAサイクル対象事業の統合型校務支援システム推進事業について、推進状況や改善に向けた取り組み、サポート体制等を確認しました。



第10回(7月25日)～第13回(10月5日)を開催し、郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例案や消費拡大に向けた市への提言内容について協議を行いました。また、条例については、実効性あるものとするのが大切であり、市民全体への浸透の観点からも、パブリックコメントを実施することについて確認しました。(栗原・福田)

用語解説

クラウド化

自社サーバーなどを設置して利用していた既存の情報システムをインターネットなどのネットワーク経由で、外部の事業者サービスを利用する方式に移行すること

PDCAサイクル事業

事業進捗報告と評価
 (Plan計画、Do実行、Check評価、Action改善)

DX

デジタル技術を毎日の暮らしに浸透させて、人々の生活をより良く豊かなものへ変えていくこと

GX

持続可能な社会を実現するために、企業が使用するエネルギーを再生可能エネルギーなどのクリーンエネルギーに切り替えていくこと

DX観光

デジタル技術の活用を通して、より魅力ある旅行を実現し観光ビジネスを発展させること

ベビーファースト運動

子育て世代が子どもを産み育てやすくする社会を実現するための運動。公益社団法人日本青年会議所の呼びかけに賛同した企業や行政が、みんなで赤ちゃんを育てていく美しい社会を目指します

決算特別委員会における現地調査



けんしん郡山文化センター(9月30日)
 3月の地震で被災したものの、ガイドレールの更新、大・中ホール照明設備のケーブル交換など復旧修繕が順調に進み7月10日に全面再開しました。



郡山ユラックス黒海(10月3日)
 開館から632年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいることから、快適なコンベンション施設としての機能維持を図るため、長寿命化改修計画に沿った改修等を実施しました。

編集後記


郡山地方の発展の礎になった安積疏水は今年、通水から140周年を迎えました。

農業、商工業も発展し郡山市が東北第2の経済都市に生まれ変わる原動力になりました。

郡山の誇りであり、さらなる地域活性化や観光誘客につなげる必要がありますので先人の偉業をたたえ、後世にしっかりと継承しましょう。(折笠)

支出明細書兼支出証明書

支出番号 12

区 分 ※該当する区分に○印				費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費	送料(折込料含む) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)			
支出目的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌(27号)			
内 容	会派広報誌の新聞折込料 79,000 枚			
	折込料 79,000 枚 × 4.5 円 = 355,500 円			
	折込料 355,500 円 + 消費税 35,550 = 391,050 円			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額	
2022年10月24日	株式会社 デザインライフ		391,050 円	
上記のとおり支出します。				
			議員氏名	共通 

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

№ 000119

領 収 証

令和 4 年 10 月 24 日

新政会様

金額 ¥391,050- 円也

販促&広告全般の企画制作・実施管理
DESIGN LIFE
(株)デザインライフ
代表取締役 武田 学
〒963-8023 郡山市緑町10-17
TEL 024(923)5555・FAX(923)5573

会報27号令和4年10月23日新聞折込料(内消費税35,550円)



現金

小切手

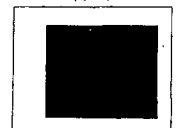
銀行振込

受取手形

相殺

係印

上記の金額領収いたしました。



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

請 求 書

963-8024
郡山市朝日一丁目23-7
郡山市市議会事務局総務課内
新 政 会 御 中

令和 4年 10月 23日
株式会社 デザインライフ
963-8023 郡山市緑町10-17
TEL:024-923-5555

No. 9715

FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当: [Redacted]
下記の通りご請求申し上げます。

品 番	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
	会報27号制作、折込							
8	レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分500枚含む)	79,500	枚	0.00	517,000			
8	10月23日新聞折込料 (郡山市内全域、全紙折込)	79,000	枚	4.50	355,500			
摘要:		合計		872,500	税別	87,250	総額	959,750

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

御見積書

令和 4 年 10 月 12 日

見積No. 3604

新 政 会

御中

会報制作費

下記の使用新聞料(印刷)は別紙にて

株式会社 デザインライフ

963-8023

郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

担当者: [REDACTED]

納入期日: 年 月 日
納入場所:
取引方法:
有効期限: 年 月 日

合計金額

¥959,750

内 容 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
会報27号制作、折込				
レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分500枚含む)	79,500	枚		517,000
10月23日新聞折込料 (郡山市内全域、全紙折込)	79,000	枚	4.50	355,500
※B3版、4/4C、コート紙B巻5.3kg、 オフ輪印刷				
【消費税 10% (税抜分)】				87,250
合 計				959,750

959,750

広報誌の按分（折込料分）

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$380 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 414,960 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

①	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
②	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
③	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
④	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
⑤	$\text{mm}^2 \times$	$\text{mm}^2 =$	mm^2
	小	計	0 $\text{mm}^2 \dots ii$

3 按分割合

$$ii \div i = \times 100 = \text{対象外按分率 } 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 391,050 \text{ 円} \times \text{対象外按分率 } 0 \% = 0 \text{ 円} \dots iii$$

(1 円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 391,050 \text{ 円} - iii = \underline{\text{対象経費 } 391,050 \text{ 円}}$$



郡山市議会

新政会

だより

27

令和4年郡山市議会 9月定例会報告



磐梯山を望む中野のそば、
麻野生産組合が26年前から愛情を込めて生産しています。

9月定例会の概要

郡山市議会9月定例会は、新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るう中、9月6日に開会し10月4日までの29日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「国の政策動向を注視し、時機を逸することなく、市民生活、地域経済に即連動できるよう、引き続き迅速な情報収集と的確な対応に努める。」旨の表明がありました。

補正予算の概要は、一般会計77億6,529万6千円、特別会計9億6,220万2千円を計上したほか、追加提案された物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業16億5千万円が追加計上されました。補正予算は、当初予算編成方針の新型コロナウイルス感

染症対策などの危機管理予算の視点、バックキャスト思考を継承しつつ、6月に閣議決定された「骨太の方針2022」、更には、今後のコロナ禍における原油価格・物価高騰対策などの喫緊の課題等を考慮し、市民生活の安定、社会経済活動の回復に資するための予算となり原案の通り可決しました。

これら予算議案のほか、条例議案等が上程され、原案通り可決するとともに、委員会提出の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書を全会一致で可決しました。また、人事案件に同意しました。

新政会 議員紹介 (連絡先)

ご意見をお気軽にどうぞください

 顧問(6期) 達磨 敏郎 総務財政常任委員会 喜久田町前田沢字 中赤津105 ☎・FAX 024-959-4651	 会長(8期) 広野 健二 文教福祉常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 日和田町字南原2-111 ☎・FAX 024-958-1101	 副会長(3期) 石川 大伸 総務財政常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 台新2-4-11 ☎・FAX 024-953-6062	 (3期) 荒原 昌弘 郡山市監査委員 建設水道常任委員会 亀田1-24-11 ☎・FAX 024-938-4151
 幹事長(2期) 中村 健二 議会運営委員会 環境経済常任委員会 田村町下道渡字坂ノ下65 ☎・FAX 024-955-3913	 (2期) 山田 健二 議会運営委員会 環境経済常任委員会 湖南町赤津字南町4172 ☎・FAX 024-953-2088	 (2期) 山田 健二 議会運営委員会 建設水道常任委員会 西田町木村字池ノ上18 ☎・FAX 024-983-9957	 (1期) 山田 健二 文教福祉常任委員会 郡山地方広域消防組合議員 広域広報委員会 堂前町6-6

9月定例会の目

質問者：福田 文子 議員



◀実際の映像もご覧になれます▶

教育機関における性教育について

Q 生命の安全教育指導の手引によると、幼児期における「命の安全教育」は5・6歳が最初の指導対象年齢としているが、本市はどのように取り組まれているのか。

A 2020年6月文部科学省発出の「性犯罪・性暴力対策の方針」を踏まえ、子どもを性暴力の当事者にさせないため、発達段階に応じた教育と啓発を行うものであり、5・6歳の幼児期については、異性の体の違いに気が付き興味を持ち始める幼児もおり、自分の身を守ることの重要性や嫌なことをされたら訴えることの必要性を教えていくこととしている。市内の保育施設では、従前より5歳児を対象に人体パズルや絵本等を使用して、男女の体の違いや体の大切な部分について教えるなど、幼児期からの性教育をすでに行なっているところもある。

ごみの問題について

Q 本市のごみの排出量は中核市62市中ワースト1位である。その対策として、ごみの分別を徹底し資源ごみとして回収することは、ごみを減らすうえで有効な手段である。市は、あらゆる手段を講じて、分別の徹底を図るべきと思うが見解は。

A 家庭ごみの排出にあたっては「郡山市一般廃棄物処理基本計画」及び「郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例」に定められている排出基準に従い分別し、ごみを排出するようお願いしている。分別の区分については、「広報こおりやま」や「ごみの日カレンダー」の配布による全戸周知のほか、「福島県環境アプリ」、「郡山市公式LINE」などSNS等を通じて、ごみ収集日や分別の徹底を図っている。今後もあらゆるツールを活用するとともに、市のイベントや市政きらめき出前講座などを通じて更なる周知と分別の徹底やリサイクルの推進に努める。



【その他の質問】 ●部活動の地域移行について ●自転車の安全について

質問者：良田 金次郎 議員



子ども食

Q 子ども食堂はその運営団体により活週1回に増やすなど、できるだけ多くの貢献すべきと思うが見解を伺う。

A 各運営団体の形態は、地域住民のボランティアなど様々であるが、いずれも本市の運営されており、開催回数を増やすに人手や時間、場所の確保といった多くのやすとともに、市内全域で開催できる。今後においても、運営の原資となる寄役割の周知・啓発を通し、子ども居場所づ

布引風の高原

Q 布引風の高原は市内外から多くの夏場は車の渋滞が発生している。今渋滞の解消をはじめ、布引風の高原の魅力向

A 対策として、これまで既存駐車場の台に増やすとともに交通誘導にあ行ってきた。さらに、ウェブサイトを活用し周知し来訪者の平準化にも努めてきた。いことから地元財産区や商工会、観光協会な協議を行いながら、布引風の高原の魅力向

【その他の質問】 ●ヤングケアラーについて ●湖南七浜の利活用について

9月定例会で可決された主な事業

拡 拡充事業

新 今回取り入れた新しい事業

拡 オミクロン株対応 ワクチンの10月以降の接種準備を開始

予算 7億620万円
財源区分補助 国10/10



新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として、対象者にオミクロン株対応ワクチンの接種を実施します。

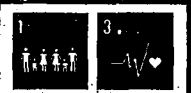
対象者
2回目までの接種を完了した12歳以上の全て方 267,000人

接種開始
令和4年9月26日から始まっています

新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム

新 生活困窮世帯の光熱費等を支援

予算 16億5,000万円 財源区分補助



国の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の支給要件に基づき、**対象世帯及び給付金額を追加拡大します。**
原油価格や物価高騰等に伴う生活困窮世帯の負担軽減を図るため、住民税非課税世帯等に対し**1世帯当たり6万円**を支給します。

対象世帯、支給額等

- | | | |
|--|---|--|
| <p>(1)対象世帯
令和4年度分の住民税非課税世帯のうち高齢・障がい・ひとり親生活保護、支援給付等
約25,000世帯</p> <p>(2)支給額 1世帯当たり
15,000円</p> <p>(3)支給時期
12月支給開始予定</p> <p>(4)事業費
3億9,100万円</p> | ➔ | <p>(1)対象世帯
令和4年度分の住民税非課税世帯、家計急変世帯
約36,000世帯
(11,000世帯増)</p> <p>(2)支給額 1世帯当たり
50,000円</p> <p>(3)支給時期
今秋の支給予定</p> <p>(4)事業費
20億4,100万円
(16億5,000万円増)</p> |
|--|---|--|

保健福祉総務課

な「一般質問」

実際の映像もご覧になれます

について

日数は様々だが、例えば、月2回の活動を数を活動し、子どもたちの居場所づくりに

ンティア、個人事業主、企業や非営利法
間や事業の中の一つとして子ども食堂
たつては、運営資金の確保はもとより、
題を抱えている現状であるが、利用を増
支援していくことが重要であると考え
のさらなる確保と、子ども食堂の社会的
りに取り組む。

渋滞について

光客が訪れる観光地になっているが、特に
駐車場の拡張や周回道路の拡幅など、渋
をどのように実現する考えなのか伺う。

画割を見直し、駐車台数を92台から170
備員)増員等を
過去の混雑状況を
いるな課題もある
と多角的な視点で
策を検討する。



写真提供:郡山市

財産区について ●郡山南インター線周辺の開発について

質問者:石川 義和 議員



実際の映像もご覧になれます

恒久平和を願い戦争を語り継ぐために

Q 世界平和が脅かされている情勢下、先の悲しみを二度と起こさない戦争のない日本を築いていくためには、戦争の記憶を引き継ぎその事実を語り継ぐことが重要である。しかし、現実には戦争を体験した世代が年々少なくなり、語り継ぐことが困難になっている。そのためにも、戦争の遺構、遺跡、遺品等により戦争の惨禍を後世に伝えるとともに、文化財として保存に取り組みはどうか。

A 本市には軍事施設が設置されていたが、現在、ほとんどが確認できず資料も残っておらず現状確認が困難な状況である。戦争遺構、遺跡等については、文化財としての価値判断するための基準が確立されていないため、今後、国・県・他自治体の動向を注視し、情報収集を行っていく。

先進地に学ぶたばこ行政について

Q 東京都港区は、港区で暮らす人・働く人・学ぶ人・港区を訪ねる人が、快適なまちを実現するため、たばこを吸う人、吸わない人が、お互い配慮しあえる快適に過ごせるまちづくりを目指し、屋内外に指定喫煙所の設置に取り組んでいる。指定喫煙所は、屋外に41カ所、屋内に55カ所が設置されている。本年度は、屋外密閉型喫煙所整備の経費約9千万円、屋内喫煙所設置等補助約9千万円見込んでいます。本市も港区のように、国から要請されているたばこ税を活用し、市の公共施設に喫煙所の整備を図るべきである。

A 市公共施設等に喫煙所の整備は、喫煙所からニコチン等の有害物質を含んだ空気が流出するため、健康被害を完全に防ぐことは難しいことから適切でない。



港区に設置されている屋外密閉型喫煙所

【その他の質問】

●本市の街路樹について

中小企業等応援プロジェクト2022

予算 2億395万円
※9月補正額

コロナ禍、物価高騰等に対する事業者支援のため、「事業の革新・継続」×「GX推進」「需要創出」を柱とした【課題克服・需要創出パッケージ】を軸に地域経済の好循環を図ります。

中小企業の抱える課題
業況が厳しく 事業維持が困難
急速なデジタル 化に未対応
カーボンニュートラルの實現

迫る法改正 (電子帳簿保存法等)
地域経済の好循環に向けた需要創出

物価高騰を克服する 事業者の経営体質強化事業【新規】	1,500万円
運輸業等緊急支援事業【新規】(県補助上乘)	8,535万円
原油・物価高騰に対応した高効率化等 促進事業【新規】(県補助上乘)	4,000万円
観光案内所リニューアル・DX観光PR事業【新規】	6,250万円
商店街等にぎわい回復・DX推進事業 【新規】(県補助上乘)	110万円

産業政策課・観光課・産業創出課

令和3年度 決算概要

(一般会計・公営企業4会計を含む32特別会計)

令和3年度決算特別委員会は、令和4年9月29日から10月4日までの実質4日間にわたり決算認定等議案33件について審査し、全会一致で承認されました。決算の概要は次の通りです。

一般会計の決算額は歳入が1,623億534万円、歳出は1,537億7,895万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は69億7,046万円の黒字決算となっており公営企業を除く28の特別会計についても黒字決算となっております。一方、財政健全化判断比率は、一般会計等の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び連結実質赤字比率に赤字額はなく、市の財政規模に占める借入金返済額等の大きさを示す実質公債比率、借入金等に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。また、資金不足はなく良好な状態です。

常任委員会報告

総務 財政

遠藤 敏郎、石川 義和
 総務財政常任委員会に付託されました議案の主なものは、「庁舎内電話通信網にスマートフォン導入」(4億1,951万円)は庁舎電話交換機のクラウド化とともに新たにスマートフォンを導入することにより市民サービスの向上、災害に強い通信環境を整備します。次に、「(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業」に伴う「麓山地区立体駐車場の整備」(1,500万円)は、管理運営等の経費のほか駐車料金のキャッシュレス決済導入に要する費用等の経費です。また、「郡山市体育施設条例の一部を改正する条例」は、郡山総合運動場等の駐車場を有料化することに伴い、所要の改正を行うものです。これら当委員会付託分の議案については原案のとおり可決しました。

なお、当委員会がPDCAサイクル事業に選定した「旧豊田貯水池池活用事業」並びに「(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業」は、その進捗状況の報告があり、令和3年度分は事業計画に基づき概ね適正に行われたと評価しました。

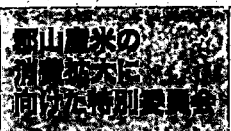
建設 水道

栗原 晃、會田 一男
 建設水道常任委員会の9月補正予算
 生活環境の利便性や安全性の向上を図るため、損傷のある道路舗装の補修や水路側溝の改修を行います。

- 道路維持管理事業 予算3億600万円
 - 内容・道路維持補修工事・舗装補修業務・道路補償業務等
 - 施工箇所 市内一円
- 水路側溝整備事業 予算7,000万円
 - 内容・整備工事・測量設計
 - 実施箇所 市内21ヵ所



水路側溝整備工事イメージ



第10回(7月25日)～第13回(10月5日)を開催し、郡山市産米の消費拡大の推進に関する条例案や消費拡大に向けた市への提言内容について協議を行いました。また、条例については、実効性あるものとするのが大切であり、市民全体への浸透の観点からも、パブリックコメントを実施することについて確認しました。(栗原・福田)

環境 経済

折笠 正、良田 金次郎
 コロナ・国際情勢等を踏まえた原油価格・物価高騰等緊急対策として農業者の肥料高騰の影響について軽減を図るため、高騰した肥料費の一部助成や、中小企業等応援プロジェクト2022としてコロナ禍、物価高騰等に対する事業者支援のため「事業の変革・継続」「DX・GX推進」「需要創出」を柱とした課題克服・需要創出パッケージを実施し地域経済の好循環を図るための各事業について審議されました。

また、地域公共交通事業者・運送事業者等への支援や製造業における省資源化・高効率化への支援に関する事業や、コロナ禍で低迷した観光産業の回復を図るための観光案内所リニューアル・DX観光PR事業では、DXを活用した新たな情報発信の拠点として観光案内所の整備等について審議され、可決しました。

文教 福祉

廣田 耕一、福田 文子
 ベビーファースト運動関連事業(1億7,905万円)に基づく、生後6ヵ月～5歳未満児のインフルエンザ予防接種費用を助成(7,104万円)、民間児童施設等の光熱費等を補助(9,520万円)、公立保育所の空調設備を更新(1,197万円)等。

さらに生活困窮世帯の光熱費等を支援するための物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業(16億5,000万円)。また小中学校における給食費補助を拡充・感染症対策を継続(2億8,062万円)等の本委員会付託案件を可決承認しました。

また、「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書を国に提出するための請願について採択したほか、PDCAサイクル対象事業の統合型校務支援システム推進事業について、推進状況や改善に向けた取り組み、サポート体制等を確認しました。

用語解説

クラウド化

自社サーバーなどを設置して利用していた既存の情報システムをインターネットなどのネットワーク経由で、外部の事業者サービスを利用する方式に移行すること

PDCAサイクル事業

事業進捗報告と評価
 (Plan計画、Do実行、Check評価、Action改善)

DX

デジタル技術を毎日の暮らしに浸透させて、人々の生活をより良く豊かなものへ変えていくこと

GX

持続可能な社会を実現するために、企業が使用するエネルギーを再生可能エネルギーなどのグリーンエネルギーに切り替えていくこと

DX観光

デジタル技術の活用を通して、より魅力ある旅行を実現し観光ビジネスを発展させること

ベビーファースト運動

子育て世代が子どもを「産み育てやすく、社会を実現するための運動。公益社団法人日本青年会議所の呼びかけに賛同した企業や行政が、みんなで赤ちゃんを育てていく優しい社会を目指します

決算特別委員会における現地調査



けんしん郡山文化センター(9月30日)
 3月の地震で被災したものの、ガイドレールの更新、大・中ホール照明設備のケーブル交換など復旧修繕が順調に進み7月10日に全面再開しました。



郡山コラックス熱海(10月3日)
 開館から32年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいることから、快適なコンベンション施設としての機能維持を図るため、長寿命化改修計画に沿った改修等を実施しました。

編集後記

郡山地方の発展の礎になった安積疏水は今年、通水から140周年を迎えました。

農業、商工業も発展し郡山市が東北第2の経済都市に生まれ変わる原動力になりました。

郡山の誇りであり、さらなる地域活性化や観光誘客につなげる必要がありますので先人の偉業をたたえ、後世にしっかりと継承しましょう。(折笠)

折込確認書兼折込明細書

(送信先)

折込申込者 00169	(株)デザインライフ			様
担当者				様
TEL	024-923-5555	FAX	024-923-5573	
住所	郡山市緑町10-17			
E-Mail				

いつもお世話になっております。
ご発注頂いた内容(折込日・サイズ・枚数など)をご確認いただき、
よろしければ「申込者確認欄」に署名又は押印の上、ご返送下さい。

広告主名 00001	新政会だより			様
折込日	22年10月23日(日)			
サイズ	B3	枚数	79,000枚	

自社担当	01122	
入力担当	01122	
問合せNO	12209210008	

新聞販売店	枚数	地域指定等	
新郡山毎民中央	2,200	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
毎民郡山駅西C	3,850	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
郡山毎民桑野	3,600	毎報サ経	
(桑野)	3,150	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
(片平)	450	報経	日経含む全紙へ
新郡山毎民南部	3,900	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
郡山毎民西部	3,750	毎報サ経	
(小山田支店)	2,050	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
(大槻支店)	1,700	毎報経	日経含む全紙へ
郡山毎民富久山	2,650	毎報サ	産系含む全紙へ
郡山毎民北部	2,650	毎報サ経	日経産系含む全紙へ。河北は除く
郡山読売中央	2,950	読友経	日経含む全紙へ
郡山読売富久山	4,600	読友経	日経産系含む全紙へ
郡山読売大槻	4,600	読友	
郡山読売開成	2,450	読友	
郡山読売駅東口	2,600	読友	
郡山YC希望丘	4,650	読友	
郡山読売北部	2,250	読友	読売・民友
郡山読売麓山	2,650	読友	
郡山朝日中央	3,600	朝友	
新郡山朝日開成	3,250	朝友	
郡山朝日南部	2,000	朝友	郡山市へ!(須賀川必ず除く)
郡山毎民安積北	4,100	毎報サ経	日経産系含む全紙へ
郡山毎民安積南	2,750	毎報サ経	郡山市へ!(須賀川必ず除く)
郡山読売安積	3,200	読友	郡山市へ!(須賀川必ず除く)
郡山柴宮三穂田	1,250	毎報経	日経含む全紙へ
郡山読友三穂田	800	読友	
郡山日和田大内	1,200	毎報朝経	日経含む全紙へ
郡山舞木販売C	1,200	毎報朝読	郡山市へ!(三春必ず除く)
郡山守山馬場	2,150	毎報朝読	日経含む全紙へ
郡山柳橋桑島	600	報朝友	
郡山柴山新聞舗	1,750	毎報朝経	日経含む全紙へ
郡山湖南斎藤	550	報読友	
郡山湖南小檜山	350	報朝友	
[郡山市 計]	78,100		
田村三春集報社	900		西田町へ!
[田村郡 計]	900		
【県南 計】	79,000		

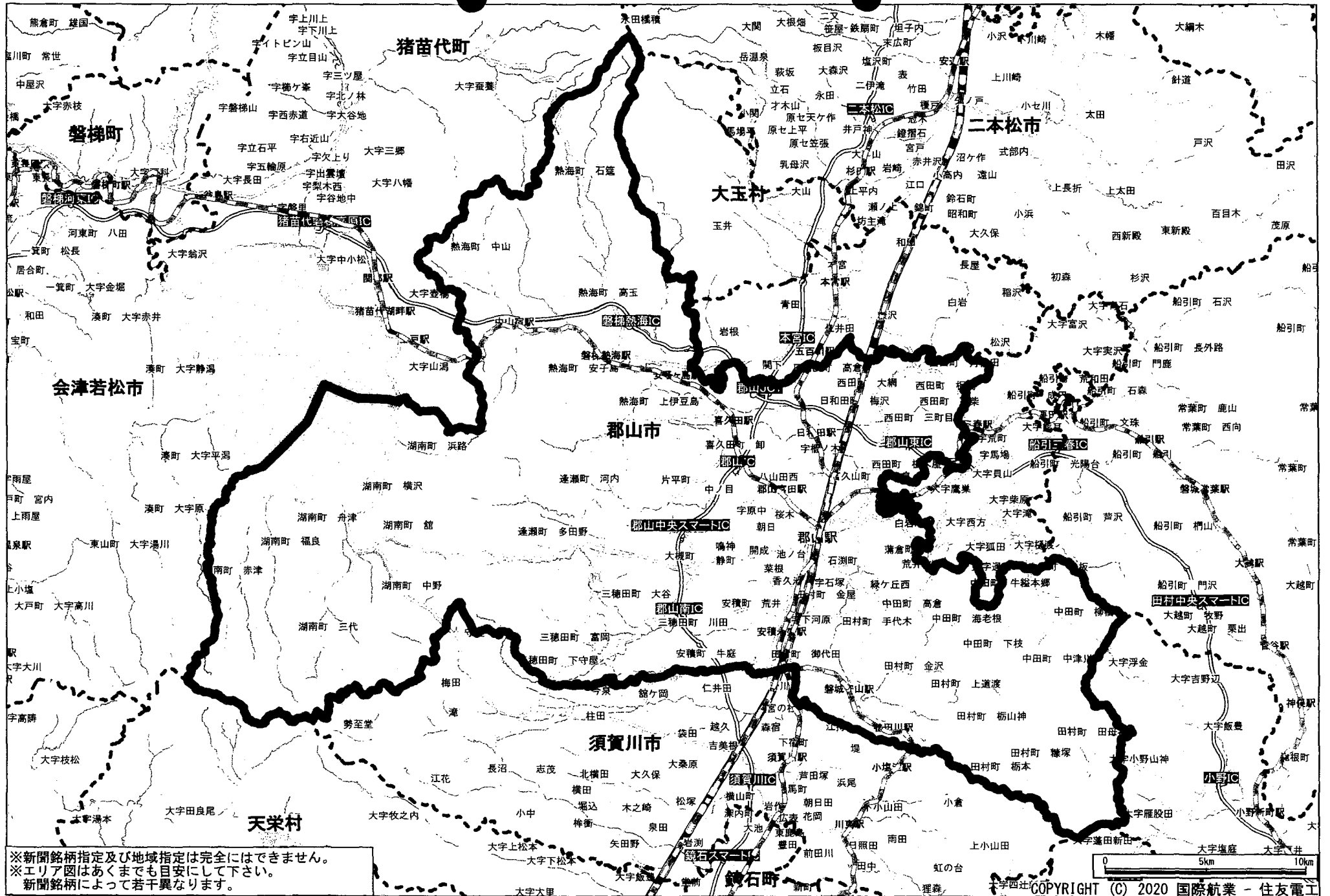
受付	確認

FCF-702(04.04)

電話	FAX	メール	面談	受付日
				22年 9月 21日




※新聞の銘柄指定および地区指定は完全には出来ませんので御了承下さい。
※折込日3日前までに修正・変更の連絡をいただけない場合は、上記内容にて折込致します。

申込完了確認日時	申込者確認(サイン・印)
年 月 日 :	



※新聞銘柄指定及び地域指定は完全にはできません。
 ※エリア図はあくまでも目安にして下さい。
 新聞銘柄によって若干異なります。

支出調書

会派名	新政会	代表者	経理責任者	起案者	
				會田 一男	
区分	事由	費目・金額		小計	
1 調査研究費		交通費 自動車燃料費 調査委託費	旅費 資料作成費 振込料		
2 研修費	(11/7~8) 地方議員研究会主催研修会、旅費	会場費 出席者負担金・会費 旅費 資料作成費 振込料	講師謝金 交通費 自動車燃料費 食糧費	772,160	772,160
3 広報費		会場費 自動車燃料費 広報誌(紙) 送料(折込料含む) 茶菓子代	交通費 資料作成費 報告書等印刷費 ウェブページ 掲載代 振込料		
4 広聴費		会場費 自動車燃料費 茶菓子代	交通費 資料作成費 振込料		
5 要請・陳情活動費		交通費 自動車燃料費 振込料	旅費 資料作成費		
6 会議費		会場費 自動車燃料費 振込料	交通費 資料作成費		
7 資料作成費		印刷製本費 筆耕料	翻訳料 振込料		
8 資料購入費		法規追録代 新聞(日刊紙) 購読料 有料データベース 等利用料	参考図書代 雑誌等購読料 振込料		
9 人件費		賃金 振込料	社会保険料等		
10 事務所費		備品購入費 消耗品等事務費 振込料	事務機器等 リース代 印刷代 配送手数料		
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分) 自動車燃料費 (按分)	郵便料等 その他		
支出年月日	2022年 10月 27日	現金出納簿 支出番号	13	合計	772,160

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 13

会派会長様

申請代表者氏名 廣田耕一



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	772,160円（1人あたり 96,520円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	地方議員研究会（in 京都）参加の為	
用務先	11/7, 11/8 京都市南区九条下殿田町70 京都テルサ	
内容	11/7 *基礎からわかる公共施設マネジメント *公会計改革と公共施設との緊密な関係 11/8 *公共施設を見れば、財政問題がわかる *公共施設も活用すれば稼ぐ施設に	
期間	2022年 11月 6日 ~ 2022年 11月 8日（2泊3日）	
行程	別紙行政調査行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・廣田耕一（代表者）	・良田金次郎
	・福田文子	・栗原 晃
	・會田一男	・石川義和
	・折笠 正	・遠藤敏郎
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	2022年 10月 27日
			許可日	2022年 10月 27日
			支出日	2022年 10月 27日

上記金額を受領しました。

2022年 10月 27日

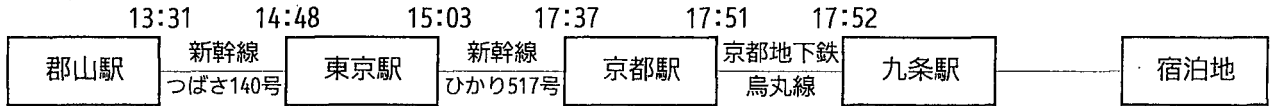
申請代表者氏名 廣田耕一



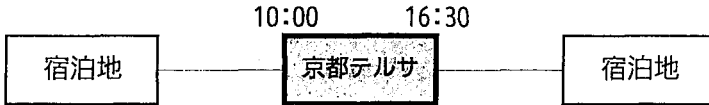
令和4年度 新国会 行政調査行程表

1 行程

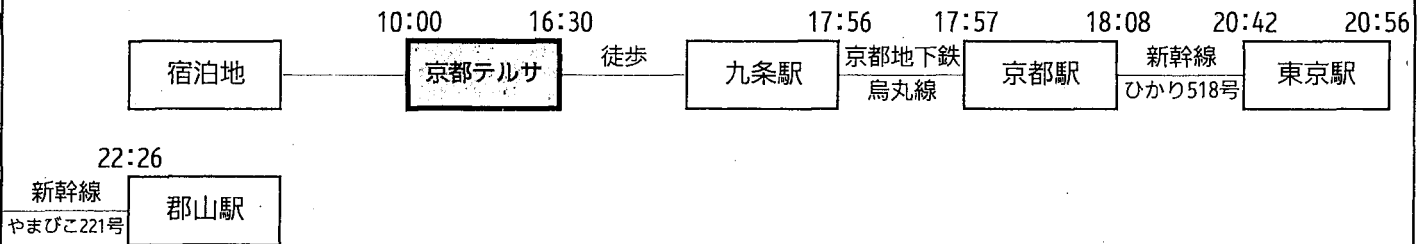
□ 1日目：11月6日（日）



□ 2日目：11月7日（月）



□ 3日目：11月8日（火）



2 人員 8名

廣田 耕一 議員
 福田 文子 議員
 會田 一男 議員
 折笠 正 議員
 良田 金次郎 議員
 栗原 晃 議員
 石川 義和 議員
 遠藤 敏郎 議員

3 視察内容

- 令和4年11月7日（月）
【地方議員研究会】
○基礎からわかる公共施設マネジメント
○公会計改革と公共施設との緊密な関係
- 令和4年11月8日（火）
【地方議員研究会】
○公共施設をみれば、財政問題がわかる
○公共施設も活用すれば稼ぐ施設に

4 事務局連絡先・会場

- 【事務局】地方議員研究会
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
- 【会場】京都テルサ
京都府京都市南区東九条下殿田町70

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 廣田 耕一、福田 文子、會田 一男、折笠 正、
 良田 金次郎、栗原 晃、石川 義和、遠藤 敏郎
 日程 : 令和4年11月6日(日)～8日(火)
 行先 : 京都テルサ(京都府京都市南区東九条下殿田町70)

11月6日										
郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 513.6	京都駅	京都地下鉄 0.8	九条駅				
運賃	10,670		※							10,670
急行料金	7,930	10,360								18,290
席種	グリーン	グリーン								0
実費										0

11月8日										
九条駅	京都地下鉄 0.8	京都駅	新幹線 513.6	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅				
運賃	※		10,670							10,670
急行料金		10,360	7,930							18,290
席種										0
実費										0

※日当対応

交通費	57,920		57,920
日当	3,000 ×	3日 =	9,000
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600
合計		96,520 円	× 8名 = 772,160 円

地方議員研究会

公共施設 特別研修

講師 南学 みなみ まなぶ

東京大学経済学研究科公民連携専攻客員教授、三重県政
策アドバイザー(行財政改革専門委員会委員)、さいたま市
公共施設再配再検討委員会委員、鎌倉市公共施設再編計
画策定委員会委員、習志野市新庁舎建設基本構想策定市
民委員会委員長、高浜市公共施設マネジメント委員会委
員長、横浜市公共施設再配再検討委員会委員の長、所沢
市総合計画審議会会長、八千代市公共施設検討委員会委
員、ふしみの市行政改革推進委員会委員長

東京大学卒業後、横浜市役所に入職。環境事業
局、経済局、総務局、市立大学事務局、市長室、
企画局を歴任。2000年から静岡文化芸術大
学助教授、2002年から横浜市参事、2004年
から神田外語大学教授。2005年から横浜
市立大学理事兼務、2011年から神奈川大学人間
科学部特任教授を経て、現職。自治体行政サー
ビスのABC分析で先駆的な研究を公表。
著書に「ポストコロナ社会の公共施設マネジメ
ント」「行政経営革命「自治体ABC」によるコス
ト把握」等。論文に「公共施設マネジメント」
(地方財務 連載中)等。

in 東京

in 京都

10.19(水) 11.7(月)

10:00~12:30

基礎からわかる 公共施設マネジメント

- ・放置されてきた「危険な」公共施設
- ・事故が起こると、公務員が有罪になる?
- ・デジタル化で大きく変わる公共施設
- ・実は、使われていない公共施設
- ・ポストコロナ社会では公共施設が必要なくなる?

14:00~16:30

公会計改革と公共施設との 緊密な関係

- ・誰もわからなかった自治体の資産
- ・「人件費」の項目がない自治体の予算
- ・なぜ、予算額と決算額が一致するのか
- ・ポストコロナ社会で、財政はどうなるのか
- ・財源がなくとも資産の有効活用で乗り切る

in 東京

in 京都

10.20(木) 11.8(火)

10:00~12:30

公共施設をみれば、 財政問題がわかる

- ・誰もわからなかった公共施設の費用
- ・公共施設マネジメントで財政課題が見える
- ・自治体は借金をして大丈夫なのか
- ・コロナ禍で消滅する自治体も
- ・財政課も分からない自治体の将来財政

14:00~16:30

公共施設も活用すれば 稼ぐ施設に

- ・公民連携(PPP)で民間資金とノウハウを導入する
- ・カネがなくとも資産がある
- ・コロナ禍とデジタル化で公共施設が変わる
- ・指定管理者制度は議会にも責任がある













出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 13

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・廣田耕一（代表者）		・良田金次郎	
・福田文子		・栗原 晃	
・會田一男		・石川義和	
・折笠 正		・遠藤敏郎	
・		・	
・		・	

記

期 間	2022年 11月 6日 ～ 2022年 11月 8日（2泊3日）					
目 的	地方議員研究会（in 京都）参加の為					
用 務 先	11/7、11/8 京都市南九条下殿田町70 京都テルサ					
行 程	別紙行程表のとおり。1名欠席（折笠正）の為キャンセル料（8,200）が発生					
内容及び成果	*基礎からわかる公共施設マネジメント*公会計改革と公共施設との緊密な関係 *公共施設を見れば、財政問題がわかる*公共施設も活用すれば稼ぐ施設に					
旅 費 精 算	受領額	772,160 円	精算額	683,840 円	返納額	88,320 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2022年 11月 10日
				確 認 日	2022年 11月 10日
				精 算 日	2022年 11月 10日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

行政調査旅費等返納計算書

理由；折笠正議員が葬儀のため欠席となった。

交通費	$57,920 - 3,400$ (JR キャンセル料)	=54,520
日当	$3,000 \times 3$ 日	= 9,000
宿泊費	$14,800 \times 2$ 泊 - 4,800 (ホテルキャンセル料)	=24,800
合計返納額		88,320

* 受講料についてはキャンセルが7日前までとなっておりキャンセル出来なかった。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証 新 政 会 様 No. _____

★ ￥ 8 2 0 0 -

但※京都研修1名様、お礼料 (JR分 3400円、宿泊 4800円)

4年 11 月 10 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

全国旅行業協会 保証社員
 福島県知事登録国内旅行業第3-165号
ユニーク旅行
 〒963-8852 郡山市台新1-4-47
 TEL 024-9247-1990

代表

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



東洋大学

経済学研究科（公民連携専攻）客員教授
PPP研究センター

南 学

MINAMI, Manabu

自宅



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

基礎からわかる公共施設マネジメント

キーワードは、
時限爆弾、縮充、因数分解

30年以降

↓
縮充

利用分析

東洋大学客員教授
南 学

公会計改革と公共施設との緊密な関連

「カネ」はなくとも「資産」がある

東洋大学客員教授
南 学

公共施設を見れば、財政問題がわかる

「面積削減」から財政経営への発想転換

東洋大学客員教授
南 学

公共施設も活用すれば稼ぐ施設に

指定管理者制度を「削減」から「収益」に変える

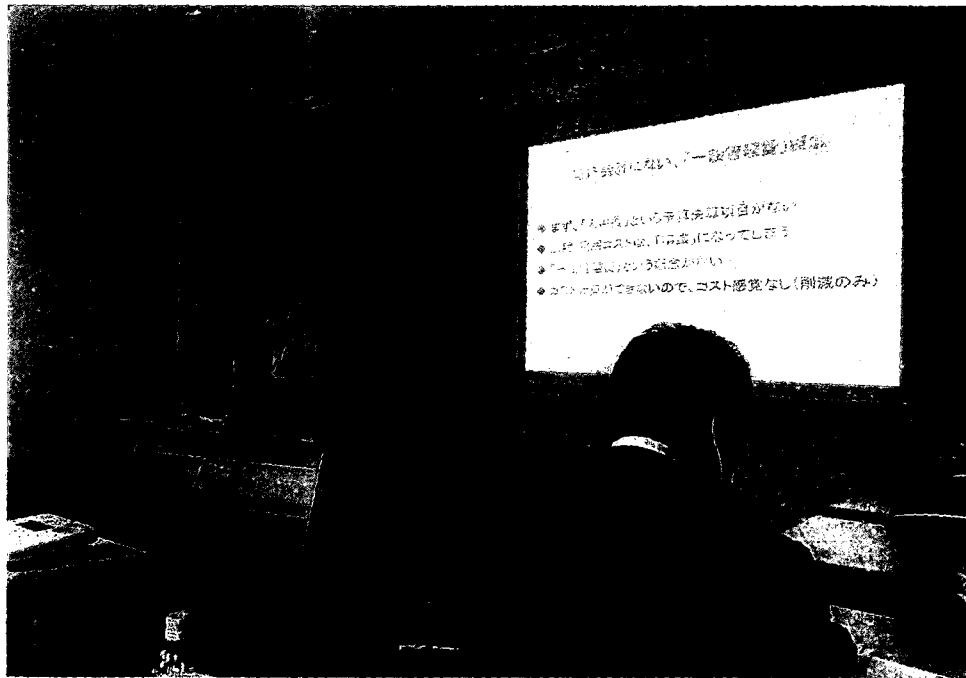
東洋大学客員教授
南 学



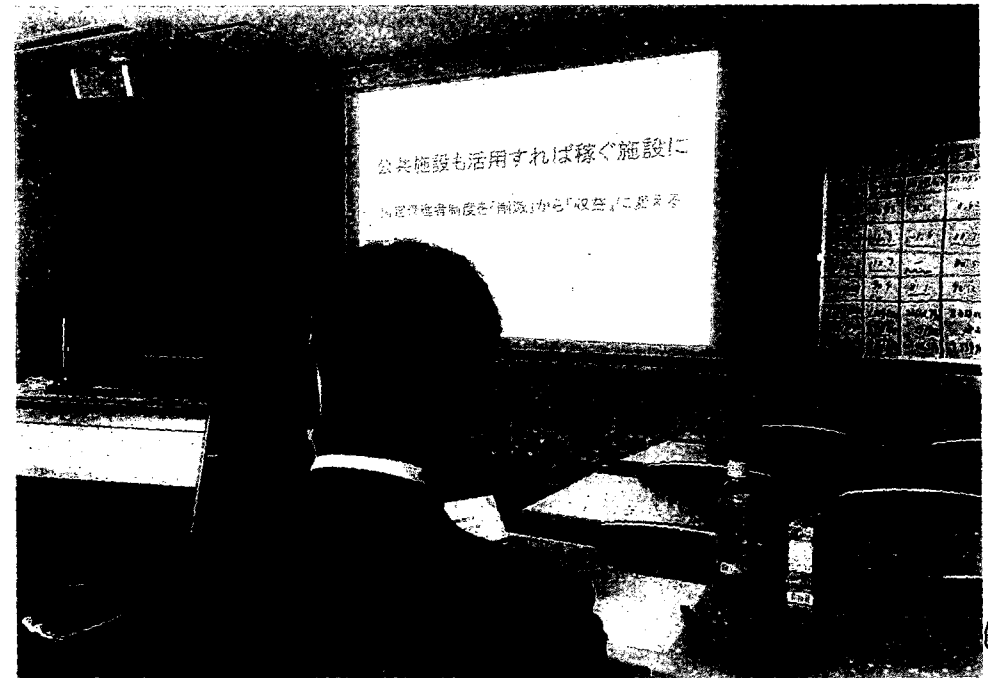
③



①



②



④

日時：令和4年11月7日10:00～12:30

場所：京都テルサ 第9会議室

講師：東洋大学客員教授 南 学

報告者：福田文子

「基礎からわかる公共施設マネジメント」

～キーワードは時限爆弾、縮充、因数分解～

南氏は1977年横浜市役所に就職し、環境事業局、経済局、市長室、企画局を歴任し1999年退職するまで1970年代の経済成長を見てきた。

南氏にとって公共施設マネジメントは、社会経済動向の変化とそれに伴う行政施策の根幹部分でもあるので、その方向性や手法が変化、あるいは進化し続けているということである。中心的課題としてとらえてきたのは、財政問題としての課題解決は確かなことである。当初は老朽化した施設の建て替えが課題として認識され、財政的にそのような余裕がないことから、面積を削減して財政の許す範囲で、施設の統合による複合化（合築）の効果を狙うという方向性であった。その方向に間違いはないが、統廃合には様々なパターンがあり、それを実践するためには部局の壁を越えたプランニングと管理運営の手法を新たに考えなければならなかった。既存の施設には必ず利用者が存在するので、利用者との合意形成を図る必要があるが、そのためには庁内組織、地域組織、議会との合意形成も含まれることになる。

今でこそ、公共施設マネジメントは行政、特に自治体行政の主要課題として認識が広がっているが、2008年11月に神奈川県藤沢市が公表した「公共施設マネジメント白書」は、関係者に大きな衝撃を与えた。それは、学校や庁舎を含む公共施設が部局ごとに管理運営されていたために、誰も！全体像を把握できていなかった実態を明らかにしたという大きなイノベーションである。公共施設全体を一覧表にまとめたことで、多くの施設が老朽化したままで「放置されている」状況にあり、建て替える財源が全く足りないことが明確になったのである。

公共施設の中で、面積が大きい施設が小中学校であり、全国平均で見れば、市町村の約4割を占める現状にある。広大な学校施設を多機能施設として活用できれば、周辺に存在する地域住民が日常的に利用する施設は、学校施設に組み入れることで、施設集約に結ぶつく可能性がある。

南氏がこの10年間の取り組みの中で明確になったのは、老朽化した施設によって人の命が奪われたり、傷つくことは確実に避けなければならないということであり、同時に施設担当の自治体職員が業務上過失という刑事責任を問われることのないようにしなければならないということである。そのために、専門家による施設の保守点検や保全（修繕）を部局の縦割りを越えて実施すべきである。これによる「副産物」として、施設設備の劣化状況と利

事業期間終了後に残る資産活用も可能となる。

消防詰所をリース方式にすれば全地区一斉に整備できるし事業費はほぼ同じ。

プロジェクト・ファイナンスの観点

従来の予算決算はコーポレート・ファイナンス、対前年比で判断しない、後年度負担やライフサイクルコストを明確化、財務諸表で判断、予算計上すると「事業採算性」は消える、官庁会計と企業会計のハイブリットが必要。

.....

郡山市は公会計制度を取り入れているがそれらを読み解く力を持たなければならない、コストには人件費が含まれていることも考慮し、施設の維持管理費、減価償却等も含めフルコストの考えをもって計画していかなければならないと再認識した。

研修報告書

日時：令和4年11月7日 14:00~16:30

場所：京都テルサ 第9会議室

講師：東洋大学客員教授 南 学

報告者：會田一男

公会計改革と公共施設との緊密な関連

「カネ」はなくとも「資産」がある

投資家は決算、納税者は予算に重きを置く、さて、民間委託は安くなるのだろうか？

コスト感覚があるかないかを考えれば民間のほうが安くなる。

安くなる理由として、働きの違いや継続して仕事がない業務など単純労働にフルタイムの正規職員が当てられている。

学校給食などを見た場合、大規模校は安くなるが小規模校では人件費が増える傾向になる。専門業務は民間でも人件費が高くなる。

固定費と変動費を考えるともうけが大きく変わる、役所では変動費（部局別事業費）を主に見るが、固定費（人件費、公債費）を官房費で見ている。

図書館のコストなど試算してみると官庁会計には「一般管理費」概念がないので希望者に本を無料で進呈したほうが安く上がる、コストは事業費で計上されコスト計算ができず感覚麻痺となり削減のみとなってしまう。

公共施設の包括保守点検委託も一つの手である、施設の安全業務仕様書や見積書のチェックも出来ないまま慣例によって数百本の無責任「契約」コストは数千万円になっている。

包括的保守管理契約（小規模修繕組込）一件当たりの契約コストは12万円ほどになる、包括的保守管理契約（小規模修繕組込）による小規模修繕のコストメリットを試算すると一軒当たり15万となる。

公会計改革での変化

現金主義からの脱皮、発生主義、複式簿記の採用、損益計算書と貸借対照表の導入、資産を明確にした固定資産台帳の整備、固定資産の価格を明示、減価償却の明示、人件費と減価償却費で事業のフルコストが明確になる。

施設整備にライフサイクルコストの検討が必須。

設備更新と業務管理のアウトソーシングによる効果の分析。

時代の変化に対応するリース方式

庁舎建設よりリース方式もいいかも

10年、20年の変化は大きい（PCの進化、LAN→Wi-Fi等）、周期設定、期間設定ができれば投資金額と将来負担が明確になる。

建設費・時間コストの節減、また事業担当者の人件費削減は数千万規模になる。

用実態のデータ収集が実現し、複合化・多機能化という「縮充」プランに結び付けることができる。そしてポストコロナ社会の施設のあり方やデジタル化・DXを見据えて、財政状況にあわせた中長期の持続可能なプランを検討・検証すべきである。

【研修を終えて】

数年後には庁舎が単なるオフィスに変わる可能性も考え、リース方式など、図書館、公民館、体育館という固定的なイメージを打ち破ることや市民が「行きたくない」施設の実現は街の活性化につながると感じた。子や孫という次の世代に『つけ』を回さないことが「街」の持続的な発展でもある。

公共施設を見れば、財政問題がわかる

～「面積削減」から財政経営への発想転換～ 南 学

公共施設の問題は、総合的な管理計画の作成段階から次のステップに進んでいる。個別施設計画の策定によって、いよいよ公共施設マネジメントの実践段階に入ってきている。そもそも公共施設マネジメントをどう進めるべきか分からない自治体も少なくなく、個別施設計画のハウツー式教科書があればいいかもしれないが、自治体の状況が千差万別の状況において一律の処方を作成することは不可能である。それぞれの自治体の事情に応じて、自ら実践の方法を考え出していくのが妥当である。

財政状況を把握する場合、自治体の財源の豊かさをみる財政力指数と、財政運営のよしあしは異なる点を注意しなければならない。財政力指数が高いからといっても財政運営がうまくいっているかは別である。自治体の事務事業は公共施設とセットで考えられているが、公共施設の保有は、住民の厚生を高めることに寄与する一方、財政を逼迫させる要因となり、財政力指数が低いほど一人当たり公共施設保有量が高い傾向にある。

地方財政が厳しくなる状況の中、新型コロナウイルス感染拡大を受け、各地方自治体においては感染拡大の防止、地域産業の継続のため財政調整基金の取り崩しや予算の組替え等が行われている。本来基金は、このような急務、危機的な状況下において活用されるべきであるが、基金をどのように活用したのかこれまで焦点とならなかったデジタル化への対応といった将来につながる形で有効に使っているかなど、財政のマネジメント力が試されるところである。現状保有している公共施設の整理は必須の課題となり、地方財政の状況や今後の公共施設の在り方から考えても、投資すべきところは施設の単純な更新等ではなく、機能の見直しによる複合化、多機能化による「縮充」となる。いち早く公共施設ありきの政策から脱却し、サービス面での住民の福祉向上への転換が求められ、財政マネジメント力は財政力指数とは関係なく、その中でのやりくりには十分な知恵が必要である。

栗 原 晃

研修報告

令和4年11月10日
郡山市議会議員石川義和

日時 令和4年11月8日14時～16時30分（4時限分）
場所 京都テルサ（京都市南区東九条下殿田）
研修テーマ 「公共施設も活用すれば稼ぐ施設に・指定管理者制度を削減から
収益に変える」 配布資料 別添の通り
講師名 東洋大学客員教授 元横浜市役所職員 南 学

講義要旨

（1）指定管理者制度についての現状

指定管理者制度は、平成15年地方自治法の改正により施行された。

その後20年経ても指定管理者制度の理解が不十分である。

その目的は、ニーズの多様化や財政面を考慮し、施設等の効率的な運用を求めた。

しかし、制度の理解が不十分のため、施設の管理運営のコスト削減の手法としての認識が強く、単純に施設等の利用促進、自主事業の展開を義務付けている運営となっている。

本来の指定管理者制度は、公の施設の活用の自由度が大きく広がった制度である。

（2）管理委託制度と指定管理者制度の違い

管理委託制度では、原則民間企業が公の施設で営利活動を行ってはならないとしていた。指定管理者制度は、民間事業のノウハウを活用する方が、利益が大きくいわば官・民のビジネスの展開でもある。

指定管理者制度は、民間企業等を行政処分として「指定」するものである。そのため議会の議決が必要となる。

運営主体となるのは、指定管理者制度では法人その他の団体で制限はない。管理委託制度は、公共団体やそれに準じる公共性のある団体若しくは出資法人のみとなっている。

管理委託制度の契約では、民間企業が公の施設で営利活動ができなかったが、指定管理者制度では可能となった。

自治体との関係では、指定管理者制度は指定・協定により行う。管理委託制度では委託契約である。

(3) 指定管理者制度のメリットとリスクについて

総務省は平成 17 年に集中改革プランにより指定管理者制度を推進した。これにより、職員の定数は 5 年間で 23 万人削減され、人件費を抑えることができた。反面、自治体自らの責任が薄くなるという現象が起こった。公の施設の管理面では、指定管理者制度になっても、責任は設置者の自治体にある。事故が遭った場合は、指定管理者と自治体双方に賠償責任がでてくるとともに、業務上過失責任という刑事事件にもなる。

(4) 指定管理者制度の自治体の問題点

自治体等において、管理委託制度と指定管理者制度の理解が得られていない。

指定管理者制度と業務委託は別物。「公の施設の活用の自由度が大幅に拡張され、これこそが指定管理者制度の本質。現状は図書館、公民館、体育館等で指定管理者制度を適用しているところがあるが、目指すべき専門的運営になっていない。

指定管理料のほとんどが、清掃、警備等の経常的運営になっており、専門的サービス、専門的な運営になっていない。

公の施設の指定管理者制度の導入状況は、令和 3 年 4 月 1 日現在で、7 万 7537 施設で指定管理者の 4 割が民間企業となっている。指定期間は 7 割が 5 年の契約期間になっている。また、事業者選定にあたっては、5 割が公募による事業者選定をしている。

個々での問題点は、サービス提供はタテマエ論で経費節減が主目的であり、期間も十分検討することなく 5 年という横並びである。

ほとんどの自治体が、その施設設置の目的、利用実態を分析することなく、低い人件費を前提とした経費節減の手法としている。

これらを改善しなければならない。

(5) 自治体の施設の実態

公共施設の多くが老朽化し財務上の問題から適切な維持管理、更新ができず安全性の確保がされていない。また、多くの施設が一部住民の利用に偏在しており、その稼働率も 2, 3 割の実態である。図書館においても市民の 1 % 程度の利用になっている。公民館についても指定管理者制度等を考えなければならない。人口減少の中、税収減となり人件費や施設管理費を減らさなければならないのが現状である。

各自治体は「公共施設等総合管理計画」を策定している。しかし多くの自治体

は、既存の施設を長寿命化計画し施設の耐用期間を延ばして、各年度の負担額を減らすようにしている。

自治体の施設整備にあたって欠如しているには、施設整備する場合は、利用対象者の実数、利用料収入、施設の想定期間、整備コスト、ライフサイクルコスト、事業手法等を検討しなければならない。

主要設備の更新や大規模修繕の費用は特別の場合除いては自治体の負担となっている。これは、長期的な経営に関する財務指標が存在しなかったこともあり、施設を所有することのリスクが認識できなかった。

昨今公会計導入により経営指標がようやく義務付けされた。

(6) 指定管理者制度の運用にあたっての改善について

指定管理者制度を規定している、地方自治法第244条の2を読み取れば、公共資産の最大限の活用に結びつく。

自治体の資産活用について例を挙げると

秦野市は、市役所駐車場にコンビニを誘致し、さらに福祉施設の床に特定郵便局を誘致している。これら施策は、市民、職員にも喜ばれている。稼ぐ発想に転換し資産の現金化をはかった例である。

大阪城公園PMO事業は、管理運営事業に加え、魅力向上事業として、既存施設の活用事業や新たな公園施設の設置、管理、回遊性の向上事業等を行い、指定管理者に数十億円もの投資を行う環境をつくりあげた。市が管理しているときには、年間数千万円の赤字が発生していた。指定管理者制度になってからは、大幅な黒字となっている。

(7) 今後の自治体のあり方

公共施設のマネジメントにおける自治体の役割は、限られた財源の中で、住民生活や、行政運営の必要な施設の維持管理を適切に行うことであり、そのために老朽化した施設の安全を確保しつつ、施設の利用率、稼働率を最大限にあげて、投資を含めた経費を最小にすることにある。




2 受講後の所感

本研修で学んだ課題は、本市も同様に存在する。

本研修を受講された自治体は15自治体、これら自治体の中では、本市の財務状況はトップクラスにある。公共資産を多く抱える本市は今からでも遅くはない。指定管理者制度をしっかりと理解し、経費削減手段を考えながら、施設最大限活用へ脱皮しなければならない。本市は大型事業である「開成山公園等Park-PFI事業」「開成山地区体育整備事業」「公共下水道整備へ民間活力導入」「麓

山地区立体駐車場の整備」等大型プロジェクトが目白押しである。
本研修は、これらの事業を推進するにあたって、大いに参考になった。

支出調書

会派名	新国会	代表者	経理責任者	起案者	
				會田 一男	
区分	事由	費目・金額			小計
1	調査研究費	交通費 自動車燃料費 調査委託費	旅費 資料作成費 振込料		
2	研修費 (11/7~8) 地方議員研究会主催研修会、1名キャンセルに伴う旅費の返金	会場費 出席者負担金・会費 旅費 資料作成費 振込料	講師謝金 交通費 自動車燃料費 食糧費	-88,320	¥-88,320
3	広報費	会場費 自動車燃料費 広報誌(紙) 送料(折込料含む) 茶菓子代	交通費 資料作成費 報告書等印刷費 ウェブページ掲載代 振込料		
4	広聴費	会場費 自動車燃料費 茶菓子代	交通費 資料作成費 振込料		
5	要請・陳情活動費	交通費 自動車燃料費 振込料	旅費 資料作成費		
6	会議費	会場費 自動車燃料費 振込料	交通費 資料作成費		
7	資料作成費	印刷製本費 筆耕料	翻訳料 振込料		
8	資料購入費	法規追録代 新聞(日刊紙) 購読料 有料データベース等利用料	参考図書代 雑誌等購読料 振込料		
9	人件費	賃金 振込料	社会保険料等		
10	事務所費	備品購入費 消耗品等事務費 振込料	事務機器等リース代 印刷代 配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分) 自動車燃料費(按分)	郵便料等 その他		
支出年月日	2022年 11月 10日	現金出納簿 支出番号	14	合計	-88,320













出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 14

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・廣田耕一（代表者）		・良田金次郎	
・福田文子		・栗原 晃	
・會田一男		・石川義和	
・折笠 正		・遠藤敏郎	
・		・	
・		・	

記

期 間	2022年 11月 6日 ~ 2022年 11月 8日（2泊3日）					
目 的	地方議員研究会（in 京都）参加の為					
用 務 先	11/7、11/8 京都市南九条下殿田町70 京都テルサ					
行 程	別紙行程表のとおり。1名欠席（折笠正）の為キャンセル料（8,200）が発生					
内容及び成果	*基礎からわかる公共施設マネジメント*公会計改革と公共施設との緊密な関係 *公共施設を見れば、財政問題がわかる*公共施設も活用すれば稼ぐ施設に					
旅費精算	受領額	772,160円	精算額	683,840円	返納額	88,320円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2022年 11月 10日
				確 認 日	2022年 11月 10日
				精 算 日	2022年 11月 10日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

行政調査旅費等返納計算書

理由；折笠正議員が葬儀のため欠席となった。

交通費	57,920-3,400 (JR キャンセル料)	=54,520
日当	3,000×3 日	= 9,000
宿泊費	14,800×2 泊-4,800 (ホテルキャンセル料)	=24,800
合計返納額		88,320

*受講料についてはキャンセルが7日前までとなっておりキャンセル出来なかった。

領 収 書 等 整 理 票

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証 新 政 会 様 No. _____

★ ￥ 8 2 0 0 -

但し京都市研修1名お世話料 (JR分 9400円, 宿泊 4800円)

4年 11月 10日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

全国旅行業協会登録社
 福島県知事登録国内旅行業第3-155号
ユニーク旅行
 〒963-8852 郡山市台新1-4-17
 TEL 024-924-1500

代選



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。